ハイビジョンハードディスクムービー

型名 GZ-HD3

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

「安全上のご注意」(P.8)および、「使用上のご注意」(P.10)は、必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

HDD SDHC HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

写真はブラックタイプです。

ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の提供サービスなどをご利用いただけます。
http://www.victor.co.jp/reg/

準備
撮影・再生
消去・編集
保存・印刷
必要なとき
困ったとき

ハイビジョンで撮って、観て、残そう!

ハイビジョンで撮ろう!

XP：最高画質で記録するなら(XPモード)
SP：長時間記録するなら(SPモード)
1440 CBR：i.LINK出力でダビングして編集するなら(1440 CBRモード)

■設定について ➡ P.84

■撮影可能時間について ➡ P.94

お知らせ

●動画の解像度は、1440×1080iになります。

ハイビジョンを観よう!

HDMIケーブル(別売)で接続するだけで、撮った映像を
ハイビジョン画質のまま、ハイビジョンテレビで楽しめます。(P.50)

■ハイビジョンテレビにHDMI端子がないとき
➡D端子ケーブル(付属)と映像/音声コード(付属)を
使います(P.50)

■従来型のテレビやワイドテレビで見たいとき
➡映像/音声コード(付属)などを
使って、標準画質で見ることが
できます(P.52)

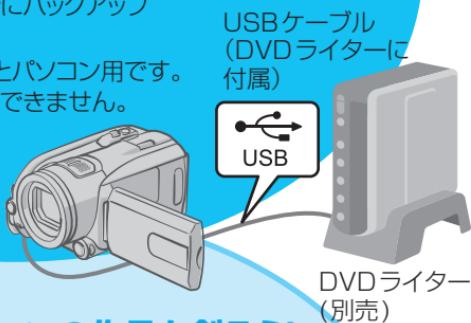
HDMIケーブル
(別売)

ハイビジョンテレビ

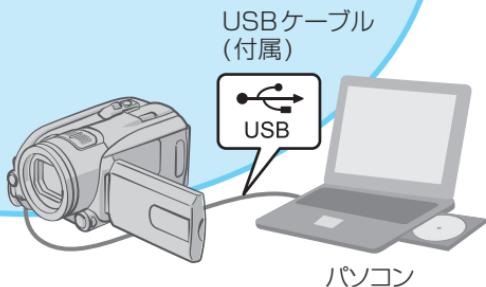
DVDにハイビジョン映像を残そう!

別売のDVDライター（CU-VD20/CU-VD40）に接続すると、バックアップDVDに映像を簡単に保存できます。（P.66）

お知らせ

- DVDライター（CU-VD40）をテレビに接続すると、本機を使わずにバックアップDVDを鑑賞できます。
- バックアップDVDは本機とパソコン用です。DVDプレーヤーでは再生できません。

パソコンでハイビジョンの作品を創ろう!

パソコンに取り込んで、ハイビジョン映像を本格的に編集できます。

■接続方法と接続できるパソコンについて
➡別冊『パソコン編』

もくじ

確認する

■本書のアイコン
動画アイコンは動画モードの、
静止画アイコンは静止画モードの
機能をあらわします。

準備する

まずは!

撮影する

再生する

もくじ(つづき)

消去／保護する

編集する

保存する

選べる!

印刷する

必要なとき

困ったとき

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと		禁止されていること				実行して欲しいこと
一般的注意	感電注意	禁止	分解禁止	ぬれ手禁止	水場での使用禁止	一般的指示

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス(+)とマイナス(−)のまちがい
- 金属物(ネックレス、ヘアピンなど)といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温(60℃以上)になる場所に置く

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。

分解禁止

分解・改造をしない

・火災や感電の原因になります。

一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

禁止

付属のACアダプター以外は使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。

一般的注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

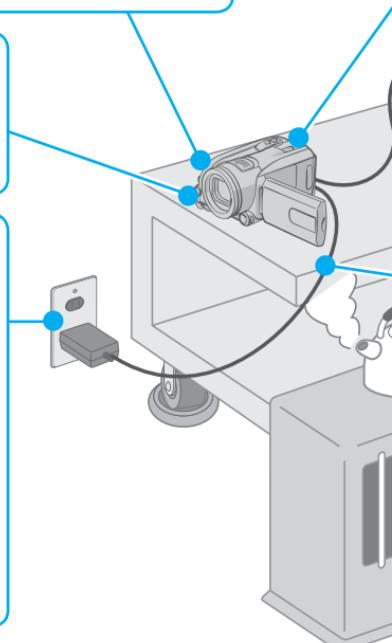
ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。

感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

禁止

内部に物を入れない
・SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

レンズを直射日光などに向けない
・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない
・交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

雨や雪が降る中やふろ場などで使用しない
・内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

⚠ 注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機からの電磁波が計器類に影響を与えるおそれがあります。

一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

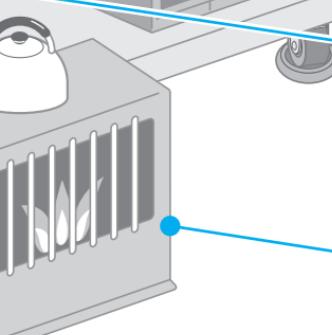
一般的指示

長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

禁止

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

禁止

熱源の近くでは、使用しない
・火災や故障の原因になります。

使用上のご注意

本機について

●精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。
ハードディスク（HDD）が認識されなくなったり、記録や再生ができなくなります。

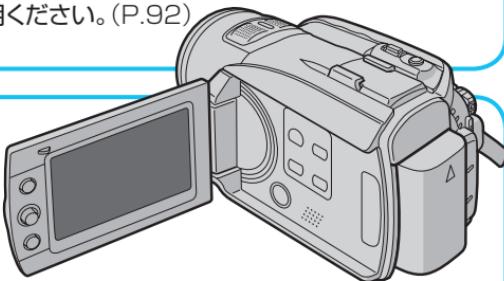
●本機とリモコンを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
高温になると、内部の電池が破裂することがあります

●本機に内蔵されたハードディスク（HDD）と、市販のSDカードに記録できます。

●撮影したデータはパソコンやDVDに保存してください。
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。

●SD-VIDEO規格に準拠したMPEG2方式で動画を記録・再生します。
DV方式やその他の方式のビデオとは、互換性がありません。

●気圧の低い場所（海抜3000m以上）では使用できません。

●指定された動作環境でご使用ください。（P.92）

液晶画面について

●表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり、割れる場合があります。

ハードディスクについて

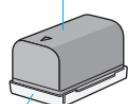
●振動や大きな音がする場所で使用しないでください。

●本機を動かすと、落下検出機能が働いて電源が切れることがあります。
（P.88）

バッテリー(充電式電池)について

- 正常な動作のために必ずビクター製品をお使いください。
- ご購入時は充電されていません。(P.26)
- 低温(10℃以下)での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。(カイロなどには直接ふれさせない)
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 長期間使わないときは…
  ・劣化を防ぐため、使い切ってから取りはずす。
  (撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ)
  ・半年に1回程度は充電し、使い切って保管する。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約15～25℃の乾燥したところで保管してください。

バッテリー
バッテリーキャップ

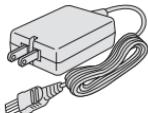
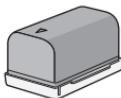
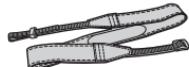
- バッテリーを処分する際はP.95をご覧ください。

■カメラやSDカードを廃棄/譲渡するときは、データの流出にご注意ください

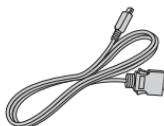
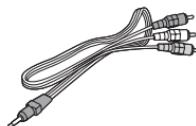
- カメラやパソコンによる「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。市販のデータ復元(修復)ソフトなどで、データを復元できる場合があります。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、カメラ(ハードディスク)やSDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
  この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の機能を使って廃棄するには、P.91をご覧ください。

■イラスト・画面について

- 本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

付属品／別売アクセサリー

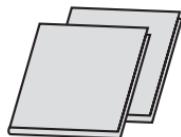
万が一、不足品や不良品がございましたら、お買い上げの販売店、
または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

ACアダプター
AP-V14

バッテリーパック
BN-VF815

ショルダー
ストラップ

ワイヤレスリモコン
RM-V750

専用D端子ケーブル

専用映像/音声コード

専用USBケーブル
Aタイプ−ミニBタイプ

オーディオケーブル
（P.85）

CD-ROM

フェライトコア
（P.85）

取扱説明書
（本書・パソコン編）

■別売アクセサリー（詳しくはカタログをご覧ください。）

バッテリーパック	BN-VF808
バッテリーパック	BN-VF815
バッテリーパック	BN-VF823
バッテリーチャージャー	AA-VF8

バッテリーキット	VU-V840KIT※
バッテリーキット	VU-V856KIT※
DCコード	VC-VBN800
DVDライター	CU-VD20
DVDライター	CU-VD40

※VU-V840KITとVU-V856KITは、バッテリーを本機に直接取り付けずに、付属のポーチに入れたバッテリーを、別売のDCコード（VC-VBN800）で本機と接続して使います。

日常のお手入れ

●お手入れの前に、バッテリーやACアダプター、電源プラグをはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 <ご注意> ・ベンジンやシンナーは使わない。（損傷や故障の原因） ・化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。 （汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因）

海外で使うときは

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。
ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

■訪問国や地域に合った変換プラグをご用意ください

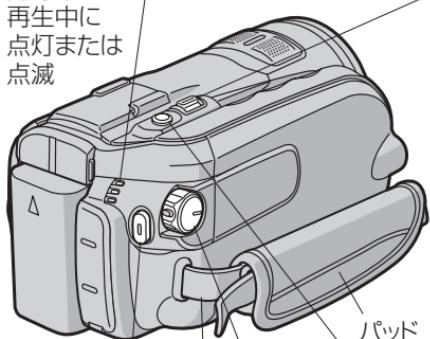
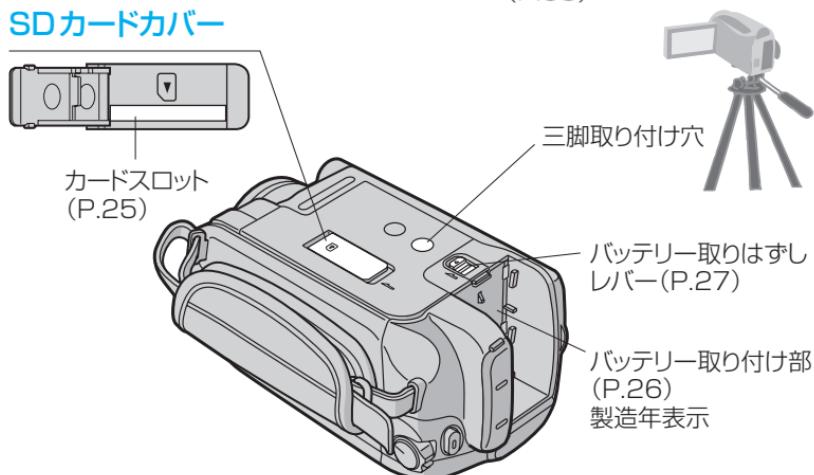
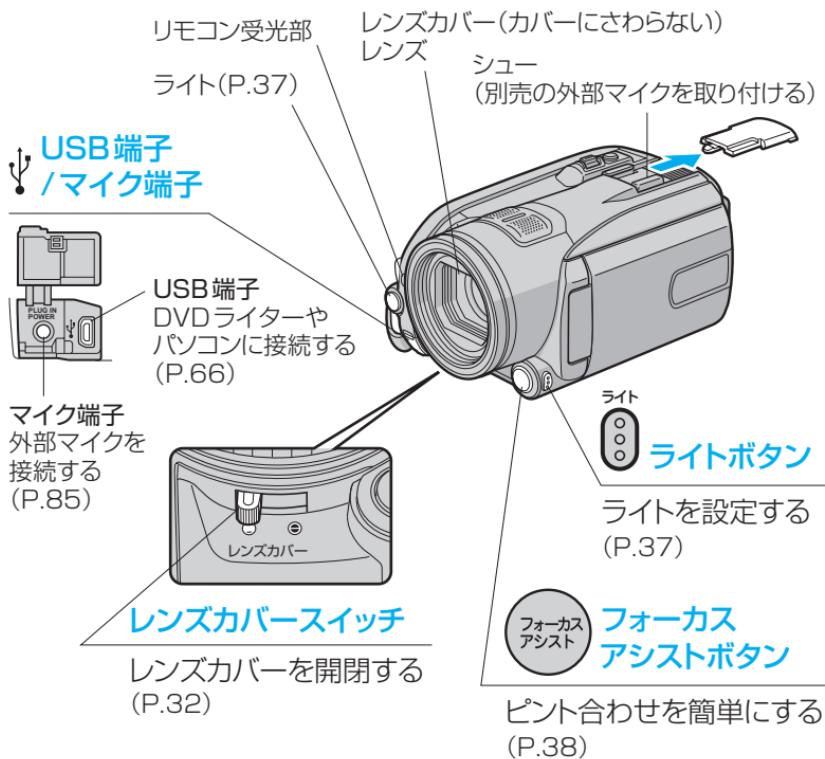
コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

■次の訪問国や地域では、現地のテレビでも再生することができます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」（P.50）をご覧ください。

- アメリカ合衆国
- 韓国
- コスタリカ
- トリニダード・トバコ
- バハマ
- フィリピン
- ペルー
- ミクロネシア
- エクアドル
- キューバ
- コロンビア
- ドミニカ
- バミューダ
- プエルトリコ
- ホンジュラス
- ミャンマー
- エルサルバドル
- グァテマラ
- スリナム
- ニカラグア
- バルバドス
- 米領サモア
- ボリビア
- チリ
- カナダ
- グアム
- 台湾
- ハイチ
- パナマ
- ベネズエラ
- メキシコ

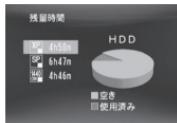
各部の名前とはたらき

動画／静止画ランプ
動画／静止画のとき点灯
アクセスランプ
記録中や再生中に点灯または点滅
－ 音量 ＋
W
T
ズーム／音量レバー
撮影中
広く／大きく撮る（P.32）
〈W側〉
〈T側〉
動画再生中
音量を変える（P.46）
再生中（動画は停止中）
一覧（ ）／全画面（ ）表示を切り替える
パッド
グリップベルト（P.24）
静止画
静止画ボタン
静止画を撮影する（P.33）
録画
録画ボタン
動画を撮影する（P.32）
モード
入
切（充電）
電源／モードスイッチ
電源を入れる（P.30）、
／ モードを切り替える（P.30）
〈動画モード〉
〈静止画モード〉

リモコン受光部
ライト（P.37）
レンズカバー（カバーにさわらない）
レンズ
シュー
（別売の外部マイクを取り付ける）
USB端子
/マイク端子
PLUG IN POWER
USB端子
DVDライターや
パソコンに接続する
（P.66）
マイク端子
外部マイクを
接続する
（P.85）
レンズカバー
レンズカバースイッチ
レンズカバーを開閉する
（P.32）
ライト
ライトボタン
ライトを設定する
（P.37）
フォーカス
アシスト
フォーカス
アシストボタン
ピント合わせを簡単にする
（P.38）
SDカードカバー
カードスロット
（P.25）
三脚取り付け穴
バッテリー取りはずし
レバー（P.27）
バッテリー取り付け部
（P.26）
製造年表示

各部の名前とはたらき

残量表示／インデックスボタン

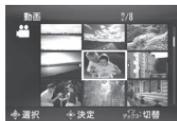
インデックス

撮影

残量情報を表示する(P.33)

〈残録画時間〉

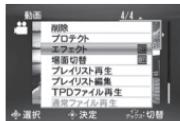
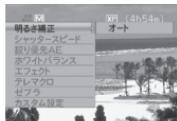
〈充電状況〉

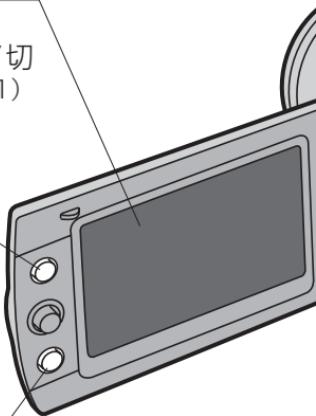
再生

見たい画像を探す(P.48)

〈インデックス 〉

ファンクションボタン

ファンクション

便利な機能を使う(P.42)

液晶画面

撮影中は、液晶の開閉で電源の入/切ができます。(P.31)

ダイレクトバックアップ/イベントボタン

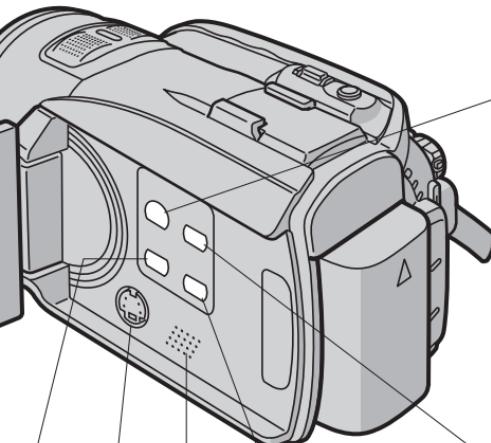
ダイレクトバックアップ

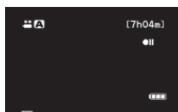
イベント

撮影　再生

イベントを記録する(P.34)

Windows接続中

パソコンに保存(バックアップ)する(別冊『パソコン編』)

切換ボタン

撮影／再生を切り換える(P.30)

〈撮影 P.32〉

〈再生 P.46〉

AUTO

インフォ

オート/インフォボタン

撮影

オート撮影／マニュアル撮影を切り換える(P.36)

A AUTO

〈オート P.32〉

M MANUAL

〈マニュアル P.36〉

再生

撮影日などのファイル情報を見る(P.46)

〈ファイル情報〉

〈ヒストグラム〉

S端子
(P.52)

スピーカー

メニュー

メニューボタン

設定を変える(P.82)

ビデオ
シーンカウンター
外部マイクレベル
画質
ズーム倍率
手ぶれ補正
選択 決定 メニュー:終了

(P.84)
(P.86)
(P.88)
(P.90)
(P.91)

各部の名前とはたらき

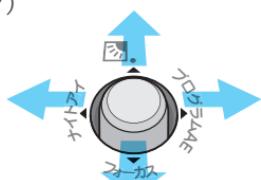
逆光補正／プログラムAE／フォーカス／ナイトアイキー

撮影中 被写体や目的に合わせて、撮影時の機能を使う

逆光を補正して（P.36）

：逆光補正
：スポット補正

暗いところで（P.37）

：ナイトアイ

状況に合わせて（P.40）

ピントを合わせて（P.38）

：遠くに合わせる
：近くに合わせる

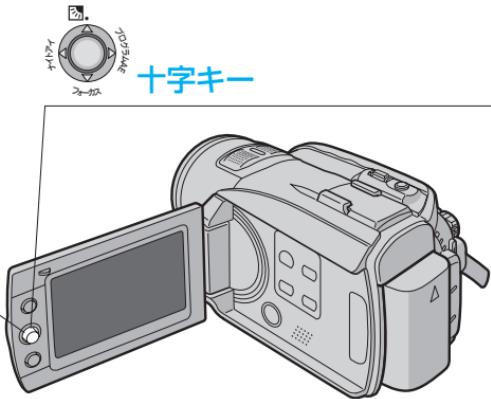
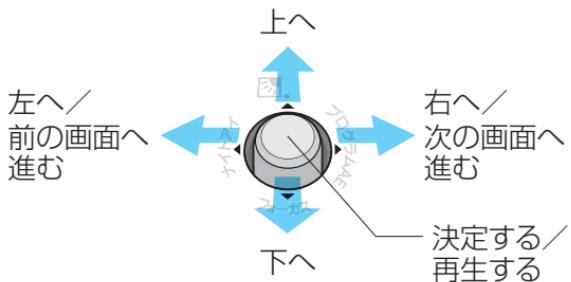
：ポートレート

：スポーツ

：スノー

：スポットライト

：夜景

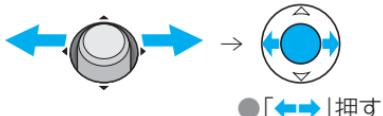
：切

再生　インデックス画面などで移動･選択･決定する

■再生中の操作 ➡(P.46、47)

■本書では、十字キーを次のように説明しています

(左右に動かすとき)

●「」押す

(中心を押し込むとき)

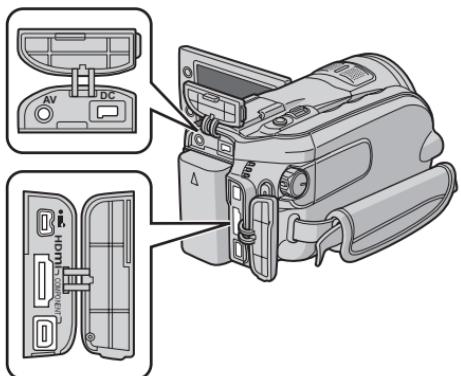
●「決定」ボタン押す

各部の名前とはたらき

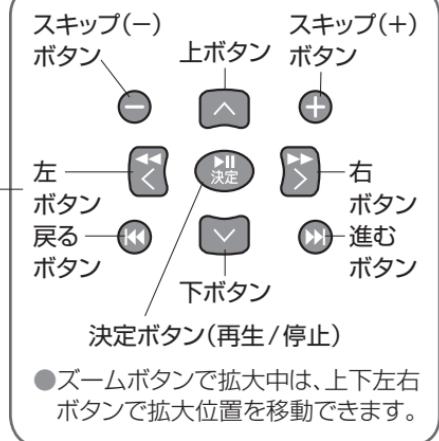
AV端子：従来型テレビやビデオなど
（P.52）

DC端子：電源コンセント（P.26）

i.LINK端子：ビデオなど（P.74）

HDMI端子：デジタルハイビジョンテレビ
（P.51）

コンポーネント端子：ハイビジョン
（COMPONENT）　テレビ（P.51）

リモコン

撮影／再生ズームボタン（T：拡大する／W：縮小する）

●リモコンは受光部（P.15）に正面から向け、屋内は約5m以内でご使用ください。

画面の見かた

共通

撮影時

撮影モード(P.36)

明るさ補正(P.37)
/逆光補正
/スポット補正(P.36)
±0

テレマクロ(P.44)

ズーム(P.32)

ズーム倍率

フォーカスアシスト
(P.38)

ビデオライト
(P.37)

絞り優先AE
(P.43)

シャッタースピード
(P.43)

ホワイトバランス
(P.44)

プログラムAE
(P.40)
/ナイトアイ
(P.37)

落下検出「切」
(P.88)

メディア

撮影エフェクト
(P.44)

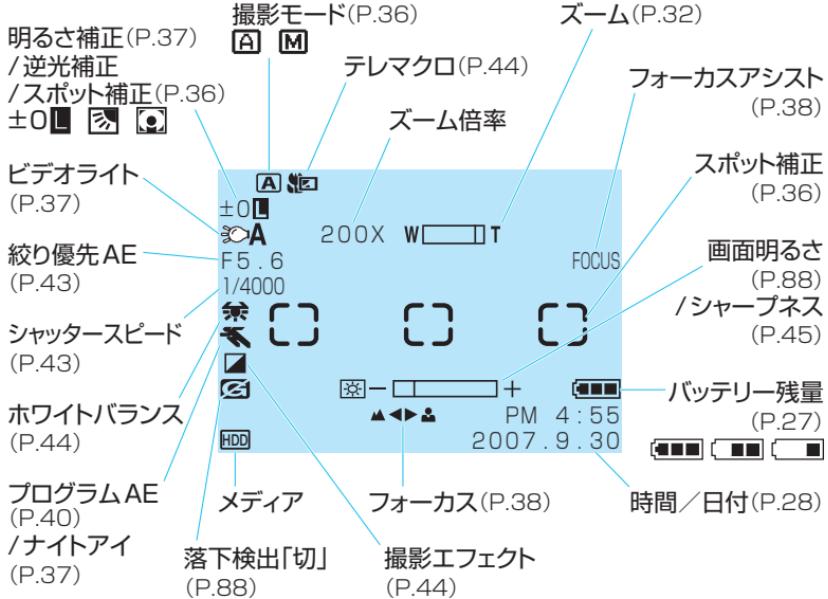
フォーカス(P.38)

時間／日付(P.28)

スポット補正
(P.36)

画面明るさ
(P.88)
/シャープネス
(P.45)

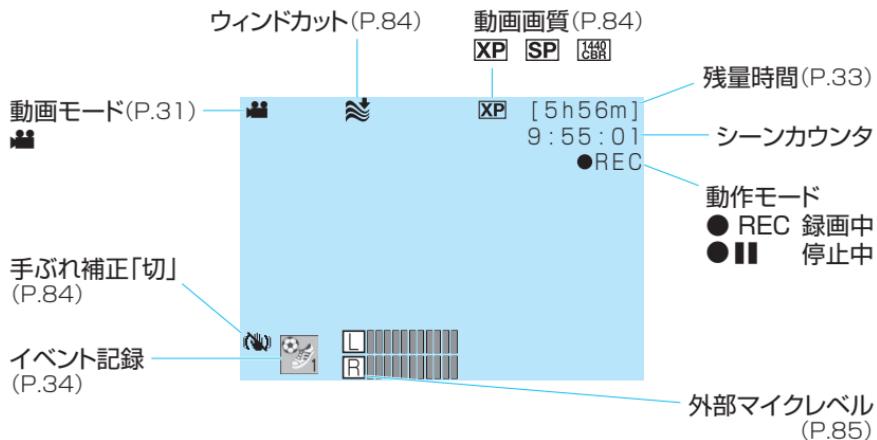
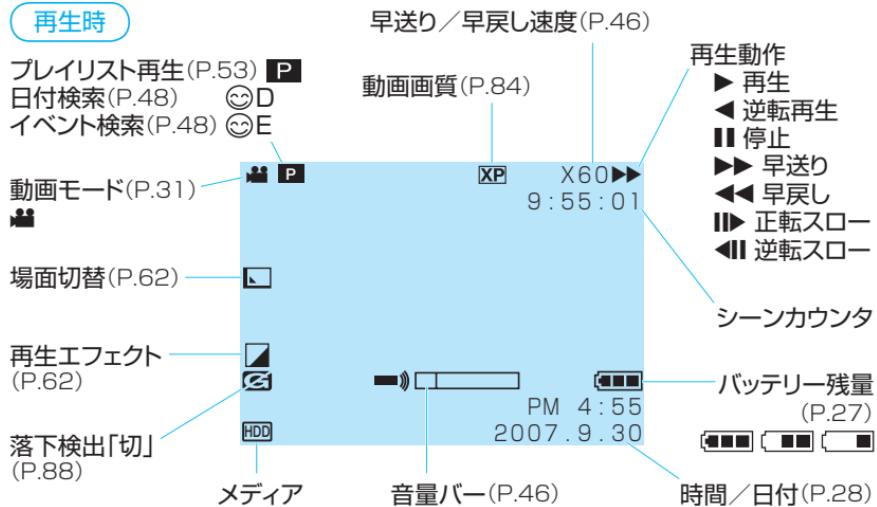
バッテリー残量
(P.27)

±0
200X W T
FOCUS
F5.6
1/4000
HDD
PM 4:55
2007.9.30

■メニュー表示中など、操作のヒント(ガイド)が表示されます

操作ガイド表示

準備 撮影・再生 消去・編集 保存・印刷 必要なとき 困ったとき

画面の見かた

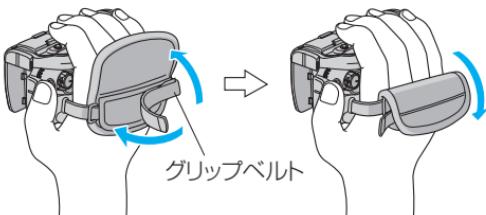
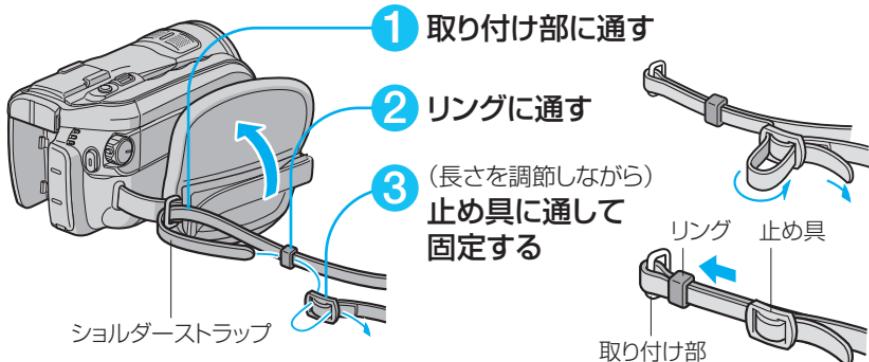
動画のとき

静止画のとき

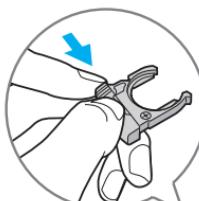
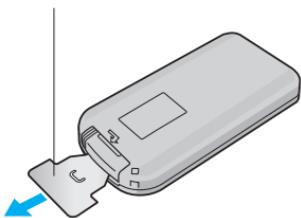
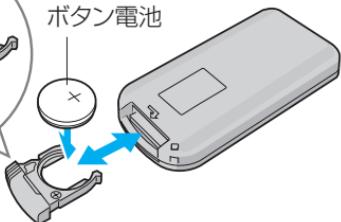
撮影時
ISO感度(P.86)
静止画画像サイズ(P.86)
静止画モード(P.31)
静止画画質(P.86)
FINE STD
100
1920
FINE [9999]
残量枚数
ピント合わせ
PHOTO
連写/ブラケット
(P.86)
静止画撮影中
セルフタイマー
(P.87)

再生時
静止画モード(P.31)
ファイル番号
(P.91)
101-0098
スライドショー
(P.47)
再生エフェクト
(P.62)
バッテリー残量
(P.27)
PM 4:55
2007.9.30
落下検出「切」
(P.88)
HDD
メディア
時間/日付(P.28)

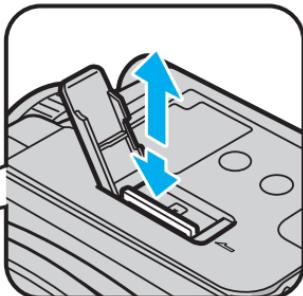
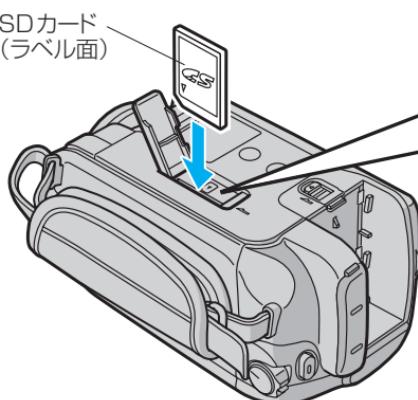
準 備 1

付属品を取り付ける

グリップベルトを調節する

ショルダーストラップを取り付ける

リモコン電池の用意をする

■電池を入れ替えるとき

準備 2 SDカード(市販)を入れる

動画と静止画の記録先を分けたいときや、撮影した静止画をお店でプリントしたいときなどには、市販のSDカードを入れておくと便利です。
(SDカードがなくても撮影できます)

確認　●電源/モードスイッチ:「切」

■取りはずすとき
➡いったん押し込んでから、取り出す

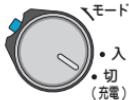
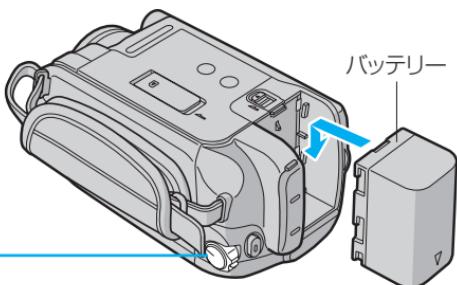
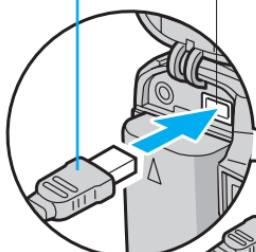
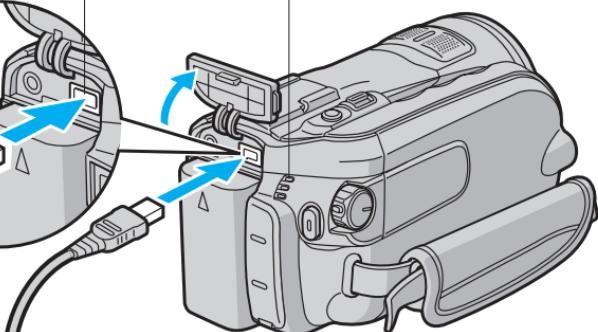
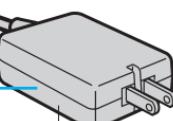
■動画や静止画をSDカードに記録するとき

➡「動画メディア」(P.84)、「静止画メディア」(P.87)

■本機(HDD)の静止画をSDカードに移すとき ➡(P.78)

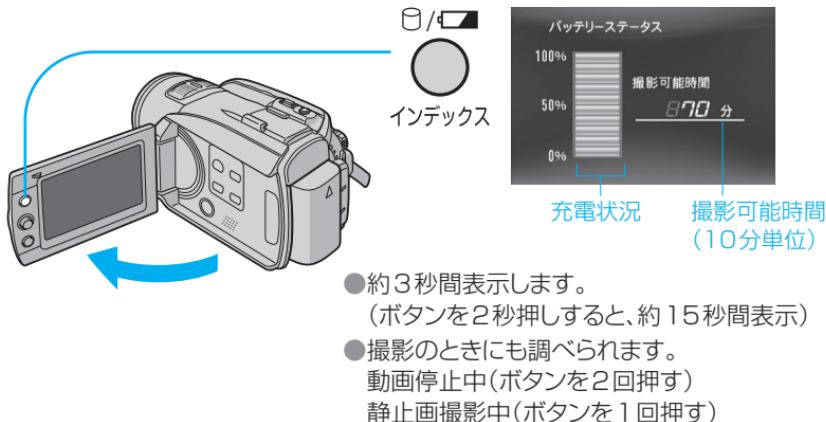
お願い

- 次のSDカードで動作を確認しています。
  動画　:Class 6対応のSDHCカード(4GB)
  静止画:次のメーカー製の、SDカード(128MB～2GB)またはSDHCカード(4GB)
  ※松下Panasonic・東芝TOSHIBA・サンディスクSanDisk・ATP
  その他のSDカード(SDHCカードを含む)では、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- SDカードに記録した動画は、画質が「SP」になるため、HDV機器にハイビジョン画質でダビングできません。
- SDカードに記録した動画は、弊社のハイビジョンハードディスクムービーでのみ再生できます。

準備 3 充電する

お知らせ ●充電時間の目安は、付属のバッテリーで約2時間40分です。（室温10℃～35℃の範囲を想定）

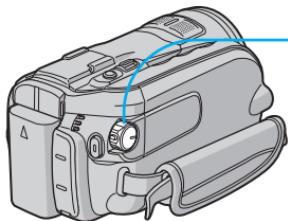
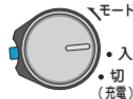
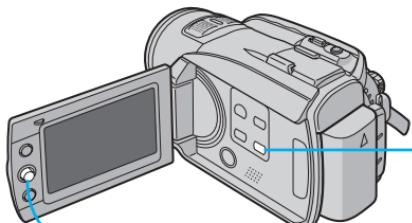
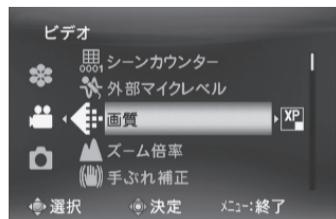
撮影前にバッテリーを充電します。
ACアダプターを接続したまま、撮影や再生ができます。

■バッテリー残量の目安を調べるとき
（電源「切」時）

●約３秒間表示します。
（ボタンを２秒押しすると、約１５秒間表示）
●撮影のときにも調べられます。
動画停止中（ボタンを２回押す）
静止画撮影中（ボタンを１回押す）

■自宅で撮影するとき／充電が間に合わないとき
➡ACアダプターを接続したまま、撮影または再生する

■バッテリーを取りはずすとき

準備 4

時計表示を合わせる

1 電源を入れる

2 メニュー一覧を表示する

3 メニューに移動する

4 「」を選び、決定する

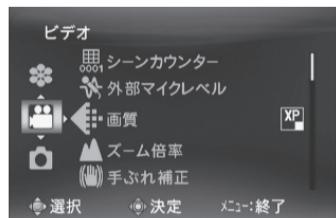
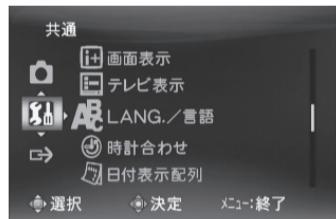
■終了するとき

➡「メニュー」ボタン押す

■一つ前に戻るとき

➡「⬅」押す

お知らせ

●日付や時刻の表示･非表示は、「日時表示」で設定できます。（P.88）

撮影時などに自動で記録される日付や現在時刻を
設定します。

日付と時刻を合わせる

時計合わせ

日付と現在時刻を合わせます。

①「時計合わせ」を選び、決定する

②日付・時刻をそれぞれ選び、決定する

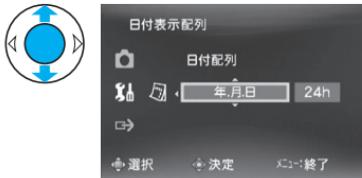
●やり直すとき
➡「⬅」で戻る

日付配列と時刻表示を変える

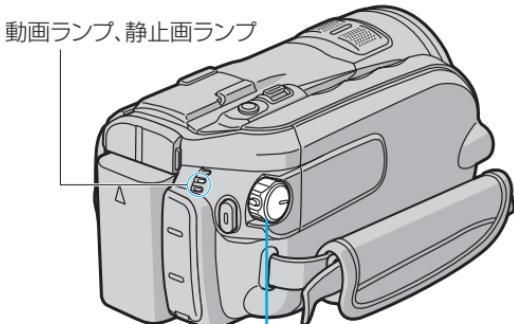
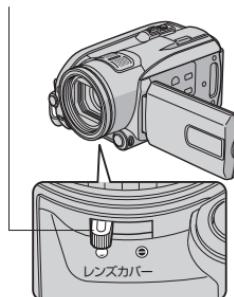
日付表示配列

日付と時刻の表示方法を変えられます。

①「日付表示配列」を選び、決定する

②日付配列と時刻表示をそれぞれ選び、決定する

●日付は、
「年.月.日」
「日.月.年」
「月.日.年」
●時刻は、
「12h」「24h」

準備 5

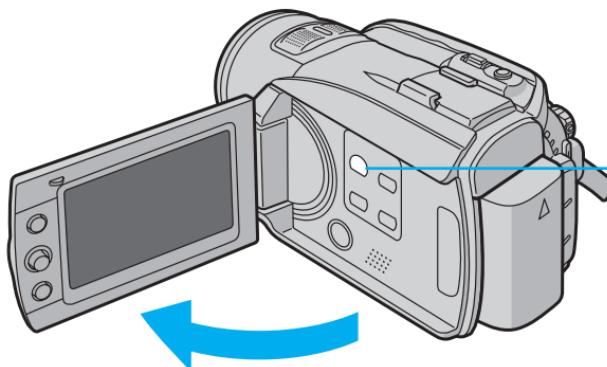
基本操作を覚えよう

電源の入／切をする

電源／モードスイッチ

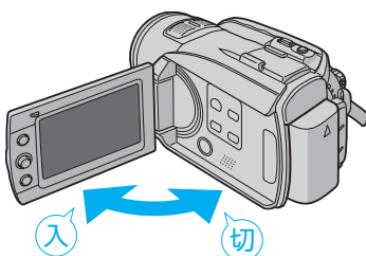
動画／静止画を選ぶ

電源／モードスイッチ

撮影／再生を選ぶ

切換ボタン

この操作は、撮影や再生･編集など、すべてに共通する操作です。
以降のページでは、「準備」の操作として説明を省略しています。

（押したまま回す）

●撮影のときは、液晶画面の開閉でも電源の入／切ができます。
（「クイックパワーオフ」）

●節電のため、操作せずに5分経つと電源が自動的に切れます。
（バッテリー使用時のみ）

（回す度に、
モードが切り換わる）

■動画モード

●動画ランプが点灯

■静止画モード

●静止画ランプが点灯

切換
再生/撮影

（押す度に、切り換わる）

■撮影のとき

■再生のとき

オート撮影 1

動画／静止画を撮る

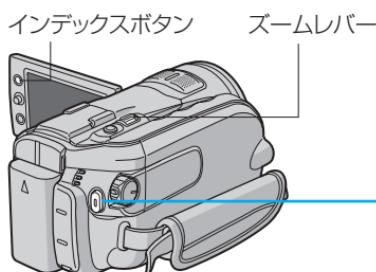
動画を撮る

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「撮影」

インデックスボタン　ズームレバー

1 押す
（撮影を始める）

残り時間　画質　録画中
XP [4h56m] ●REC

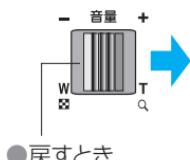
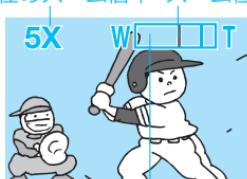
2 押す
（撮影を終える）

残り時間　画質　停止中
XP [4h56m] ●II

● 1つの動画ファイルの容量は最大4GBです。長時間撮影ではファイルが分割されて保存されます。

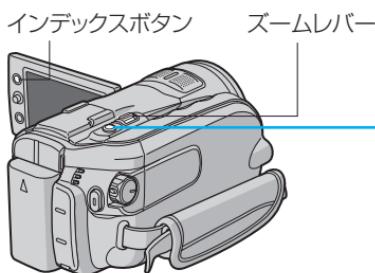
■ライトで照らすとき

➡「ビデオライト」(P.37)

■映像に効果をつけて撮るとき

➡「エフェクト」(P.44)

明るさやピントを自動で補正しながら、オート(自動)で撮影できます。手動で補正して撮るときは、マニュアル(手動)撮影します。(P.36～45)

静止画を撮る

準備　●電源／モードスイッチ：モード
　　　●切換ボタン：「撮影」

1 半押しする
(ピントを合わせる)

シャッター速度
ピントが合うと緑色に点灯
FINE[8]
1/250

2 全押しする
(シャッターを切る)

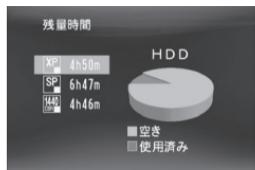
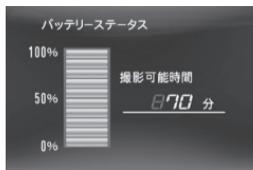
残り枚数
画質
FINE[8]
PHOTO
記録中

■セルフタイマーを使うとき
➡「セルフタイマー」(P.87)

■連写するとき ➡「連写」(P.86)

●より多くの静止画を撮りたいときは、「画質」や「画像サイズ」を変更します。(P.86)
●再生中の動画(P.46)も撮影できます。

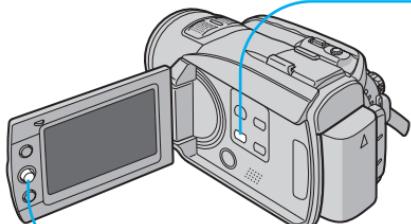
■録画可能時間やバッテリー残量を調べるとき

インデックス

XP：最高画質
SP：長時間用
1440：固定ビットレート

●HDDの使用状況と残録画時間
(動画のときのみ)
撮影「停止中」

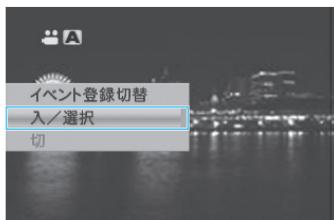
●バッテリーの充電状況と撮影可能時間
電源「切」

オート 撮影 2

イベントを選択する

準備　●電源／モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「撮影」

1

イベントメニューを表示する

2
「入／選択」を選び、決定する

3 **イベントの種類を選び、決定する**

●決定後、撮影する動画に選んだイベントが記録され、画面にアイコンが表示されます。(P.24)（変更するまで同じイベントが記録され続けます）

■終了するとき
➡「イベント」ボタン押す

■イベントの記録をやめるとき
➡手順②で「切」を選ぶか、
手順③で「設定なし」を選ぶ

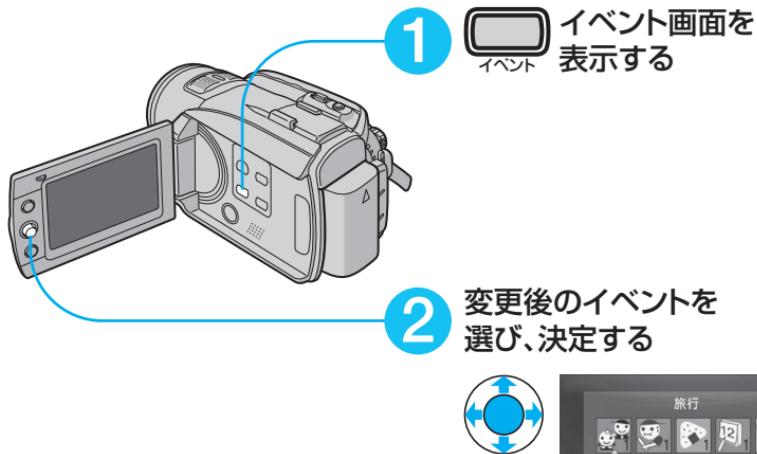
■記録したイベントを変えるとき
➡「イベント登録切替」(P.35)

動画を撮影する前に、「旅行」「運動会」「ペット」などのイベントを記録しておくと、検索や整理がしやすくなります。

一度記録したイベントを変更するとき

準備　●電源 / モードスイッチ：🎥モード
　　　●切換ボタン：「再生」

1 イベント画面を表示する

2 変更後のイベントを選び、決定する

■終了するとき

➡「イベント」ボタン押す
「保存して終了」を選び、決定する

3 動画を選び、決定する

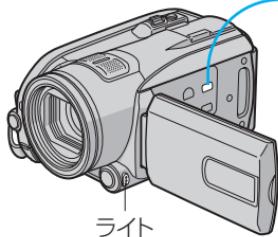
記録されているイベント

マニュアル撮影 1

明るさに合わせる

準備　●電源／モードスイッチ：🎥/📷モード
●切換ボタン：「撮影」

1

マニュアル撮影にする

M MANUAL

暗くなるのを補正する

逆光補正

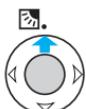
スポット補正

太陽に向かって撮影したときなど、被写体が暗くなるのを補正します。

●押す度に…
：逆光補正
↓
：スポット補正
↓
（なし）：補正なし

■逆光補正がうまくいかないとき、
画面のスポット枠を明るさの基準にしたいとき

➡①スポット補正にする

②基準にする位置を選び、決定する

●スポット枠が動く。

●明るさを固定するとき
➡手順②で２秒以上押し続ける（Lと表示）

通常のオート(自動)撮影で思い通りの明るさが得られないときは、
マニュアル(手動)撮影で、いろいろな調整をして撮ることができます。

暗いところで感度を上げる

ナイトアイ

薄暗い所での撮影は、より多くの光を取り込んで明るく写すことができます。(最大30倍まで)

●「←」押す度に…

A：ナイトアイ
↓
(なし)：補正なし

お知らせ

●スローシャッターになりブレやすくなるので、三脚での固定をおすすめします。

ライトで照らす

ビデオライト

ライトで被写体を照らしたいときに。
(オート撮影時にも変更できる)

●「ライト」押す度に…

：常に点灯
↓
A：オート(周囲が暗いと点灯)
↓
(なし)：切

●ライトが暗く感じるときは
➡「感度アップ」や「感度」を「入」にする
(P.84、86)

マニュアル撮影 2

ピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

準備 ●電源/モードスイッチ: / モード
●切換ボタン:「撮影」

1 マニュアル撮影にする

AUTO

MANUAL

2 マニュアルフォーカスにする

フォーカス

3 ピントを合わせ、決定する

●「↓」押す度に…

: マニュアルフォーカス

↓

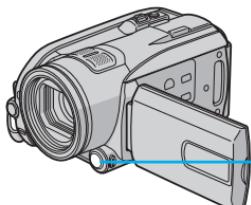
(なし) : オートフォーカス

正確にピントを合わせる

フォーカスアシスト

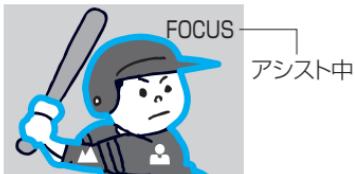
画面端の被写体にピントを合わせたいときなど、オートフォーカスでは
ピントが合いにくい場合に、マニュアルフォーカスを使います。

画面の表示を一時的にモノクロにし、ピントが合っている画像の輪郭線を
青色で表示します。

①フォーカスアシストにする（モノクロ表示にする）

●押す度に…

→FOCUS ：アシスト中
↓ （モノクロ表示）
（なし） ：切
（カラー表示）

② 被写体の輪郭線を青色にする（ピントを合わせる）

② 決定する

●輪郭線の色を変えたいとき
➡「フォーカスアシスト」（P.88）

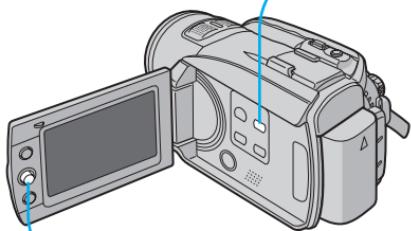
●アシスト中のまま、オートフォーカスにしたいとき
➡「⬇」押す

お知らせ

●ズームを使うときは、ズームレバーを望遠（T）にしてピントを合わせてから広角（W）にすると、ピントがズレにくくなります。
●暗いところなどでフォーカスアシストを使うと、ざらついた部分に色が付いて輪郭色が見にくくなります。

マニュアル撮影 3

場面や状況に合わせる（プログラムAE）

準備　●電源／モードスイッチ：🎥／📷モード
　　　●切換ボタン：「撮影」

1 マニュアル撮影にする

2 プログラムAEを開く

■終了するとき
➡手順2で「OFF」にする

3 最適なモードを選び、決定する

選んだモードのアイコン

撮りたいものに合わせて露出やシャッタースピードを調節し、
最適な設定で撮影できます。

ポートレートモード
：背景をぼかして、人物を浮かび上がらせる。

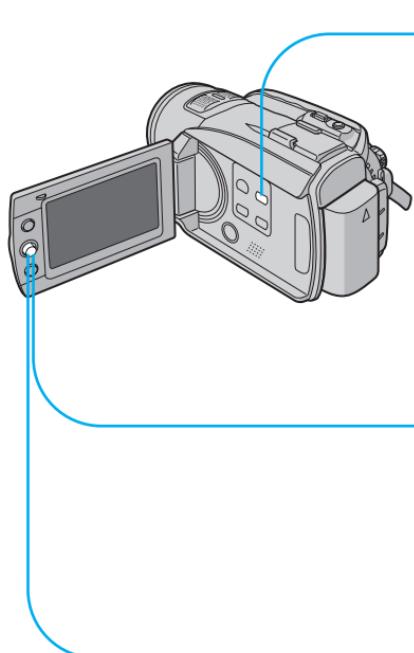
スポーツモード
：動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に。

スノーモード
：晴れた日の雪原など、周囲が明るくなりすぎない。

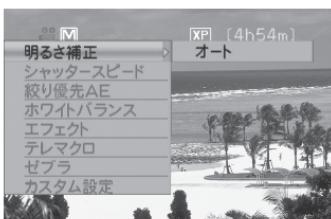
スポットライトモード
：ライトの中の人物も明るくなりすぎない。

夜景モード
：夜景などを自然な感じに。

マニュアル撮影 4 被写体や目的に合わせる（ファンクション）Ⅰ

準備　●電源／モードスイッチ：🎥／📷モード
　　　●切換ボタン：「撮影」

1 AUTO マニュアル撮影にする

MANUAL

2 ファンクション F ファンクションを表示する

3 機能を選び、決定する

4 内容を選び、決定する

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■一つ前の画面に戻るとき
➡「⬅」押す

お知らせ

●再生時に「ファンクション」ボタンを押すと、削除や編集などの機能が表示されます。（P.54、56など）

ファンクションでは、明るさ、絞り、シャッタースピードなどを、
被写体や目的に合わせて細かく調節できます。

ファンクション	内容
明るさ補正	（動画のとき） ●オート　：自動的に明るさが調節される －6～+6　：手動で明るさを調節する （静止画のとき） ●±0　：明るさを補正しない －2.0～+2.0：手動で明るさを調節する • 明るさを固定するときは ➡設定終了後、「決定」を２秒以上押し続ける。(Lと表示)
シャッタースピード	●オート　：自動的にシャッタースピードが調節される 1/2～1/4000 • 動きの速い被写体を鮮明に撮るときは ➡数値を小さくして、シャッタースピードを上げる （被写体が暗くなることがある） • 動きのある被写体の流れを撮るときは ➡数値を大きくして、シャッタースピードを下げる （手ブレしやすくなるので、三脚で固定する）
絞り優先AE	●オート　：自動的に絞りが調整される （動画のとき）F1.8～F8.0 （静止画のとき）F1.9～F5.6 • 背景をぼかすときは ➡数値を小さくする • 背景にもピントを合わせるときは ➡数値を大きくする（被写体が暗くなることがある）

●印は、お買い上げ時の設定です

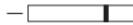
マニュアル撮影 5

被写体や目的に合わせる(ファンクション) Ⅱ

ファンクション	内容
ホワイトバランス	● A オート　：自動的に自然な色合いになるよう調節される ワンタッチ　：手動で被写体の色をより正確に調節する ➡①白い紙を画面全体に写す ②「ワンタッチ」の点滅が止まるまで、「決定」ボタンを押し続ける。 はれ　：晴れた日の屋外で撮るとき くもり　：くもりの日や日陰で撮るとき ハロゲン　：ハロゲン撮影用ライトなど、照明の下で撮るとき
エフェクト	● OFF 切　：効果をつけない セピア　：古い写真のようなセピア色で撮る B/W 白黒　：白黒映像のようなモノクロで撮る 映像効果　：速いこま落としを付けて、映画のような効果で撮る(動画のみ) ストロボ　：コマ落としで、連続写真のように撮る(動画のみ)
テレマクロ	● 切　：望遠(T)側で約1mまで接写できる 入　：望遠(T)側で約70cmまで接写できる
ゼブラ(動画のみ)	● 切　：ゼブラ機能を使わない 70%　：白とびに近い(明るい)場所を、しま模様で見つける 100%　：完全に白とびした(明るすぎる)場所を、しま模様で見つける • しま模様は、映像に記録されません。 • 白とびを減らすには ➡(P.45)

●印は、お買い上げ時の設定です

ファンクションでは、ホワイトバランス、エフェクト、シャープネスなどを、被写体や目的に合わせて設定できます。

ファンクション		内容
カスタム設定（動画のみ）	シャープネス	－□＋ ：輪郭を強調する（＋）、またはぼかす（－）「⬅➡」で調節する ● （なし） ：自然な輪郭のまま撮る
	カラーバー	● 切 ：カラーバーを表示しない 入 ：カラーバーを表示する ・テレビなどに接続するときに、テレビの色調節の基準として使用できます。テレビの色調節については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

●印は、お買い上げ時の設定です

お知らせ ●シャープネスを強調すると、ざらついた映像になります。

■動画を適切な明るさで撮影するには

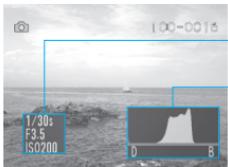
撮影前に、ファンクションメニューの「ゼブラ」を設定する（P.44）

➡絞り・シャッター速度・明るさを調節し、しま模様を減らして撮影する

明るすぎる（白とび）

■静止画を適切な明るさで撮影するには

再生中に「インフォ」ボタンを2度押し、ヒストグラムを表示する（P.47）

➡絞り・シャッター速度・明るさを調節し、グラフの山が途切れないようにして撮影し直す

撮影時の情報

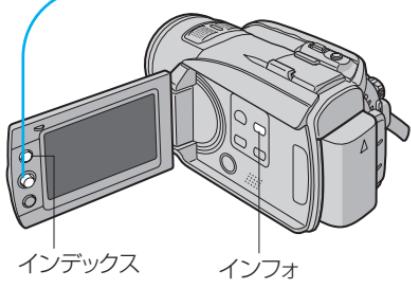
ヒストグラム
・縦軸：画素数
・横軸：明るさ

右端で途切れている：明るすぎる（白とび）

左端で途切れている：暗すぎる（黒つぶれ）

動画/静止画を見る

動画を見る

準備 ●電源/モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

動画を選び、

（インデックス画面）

再生する

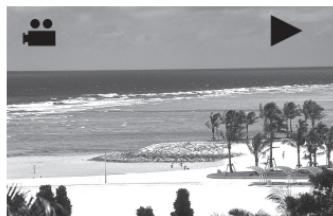
（再生画面）

■一覧表示に戻るとき
➡（停止中）「インデックス」ボタン押す

■撮影日や撮影時間などの情報を見るとき
➡（停止中）「インフォ」ボタン押す

■撮影日などから探して見るとき ➡（P.48）

■テレビで見るとき ➡（P.50）

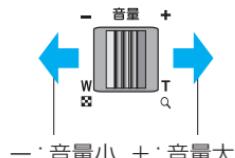
■削除するとき ➡（P.54）

■再生中の操作

⏮：シーン先頭へ戻る

⏪：早戻し／コマ戻し（停止中）、スロー戻し（停止中、長押し）

⏯：再生／停止

⏩：早送り／コマ送り（停止中）、スロー送り（停止中、長押し）

⏭：次の動画へ進む

－：音量小　＋：音量大

●早送り／早戻し中は、「⬅➡」に動かす度に、再生速度が変化する。（60倍速まで）

撮影した動画や静止画を、一覧表示（インデックス画面）から
選んで再生できます。

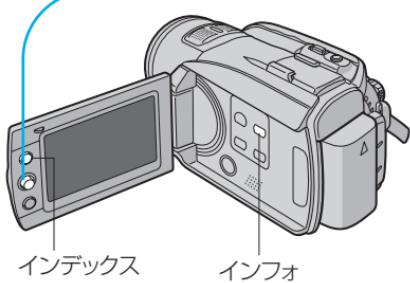
静止画を見る

準備　●電源／モードスイッチ：📷モード
　　　●切換ボタン：「再生」

1 **静止画を選び、**

（インデックス画面）

2   **再生する**

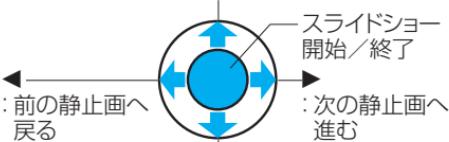
（再生画面）

■一覧表示に戻るとき
➡「インデックス」ボタン押す

■スライドショーで見るとき
➡「決定」ボタン押す

■撮影日やサイズなどの情報を見るとき ➡「インフォ」ボタン押す

■撮影日などで探して見るとき ➡（P.48）

■削除するとき ➡（P.54）

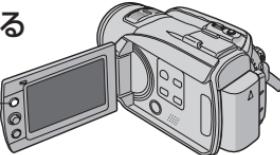
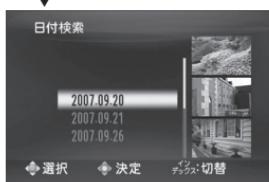
■再生中の操作

●スライドショーを再生中は、「⬆⬇」で再生順が逆になる。

■明るさを確認するとき
➡手順②のあと「インフォ」ボタンを２度押し、ヒストグラムを調べる（P.45）

再生 2 探して見る（インデックス）

準備　●電源／モードスイッチ：🎥／📷モード
　　　●切換ボタン：「再生」（停止状態）

1 インデックスを表示する

インデックス
（押す度に、切り換わる）

（インデックス画面）

（日付検索画面）

（イベント検索画面）

🎥 📷 撮影日から探す
日付検索

🎥 イベントと撮影日から探す
イベント検索

■中止するとき
➡「インデックス」ボタン押す

撮影したたくさんの動画や静止画を、撮影日や記録したイベントなどから検索して、一覧表示させることができます。

撮影日で絞り込んだ動画や静止画を表示します。

①撮影日を選び、決定する

②動画や静止画を選び、決定する

●選んだ日に撮影した動画・静止画のみ表示される。
●再生画面に「😊D」が表示される

イベントの種類と撮影日で絞り込んだ動画を表示します。
（イベントは設定されていないと表示されません。P.34）

①イベントの種類を選び、決定する

②撮影日を選び、決定する

●選んだイベントを含む撮影日のみ表示される

③動画を選び、決定する

●選んだ日に撮影した動画のみ表示される。
●再生画面に「😊E」が表示される

●選んだイベントのすべての動画を見るとき➡手順②で「すべてのシーン」を選ぶ。

再生 3 テレビで見るⅠ

準備　●電源／モードスイッチ：「切」
　　　●お使いのテレビの説明書もご覧ください

1 テレビに接続する

2 切換ボタンで「再生」にし、必要に応じて設定する

3 再生する

●動画を見るとき➡P.46
●静止画を見るとき➡P.47
●インデックスから探して見るとき➡P.48
●プレイリストを見るとき➡P.53

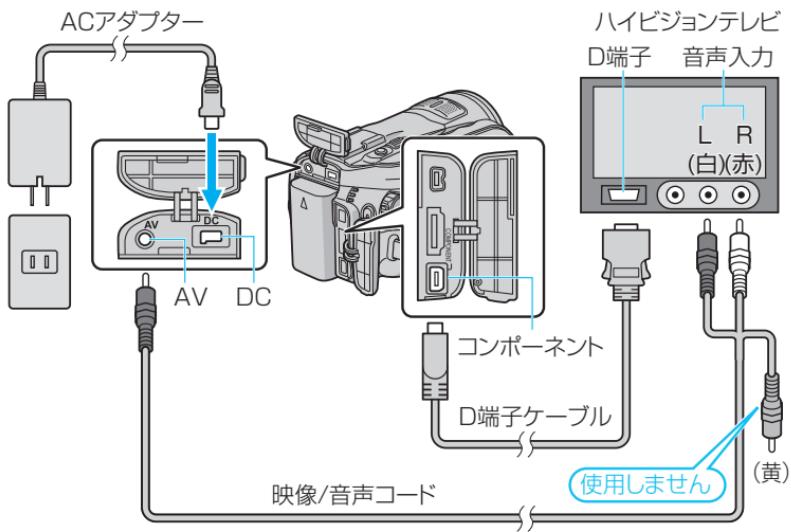
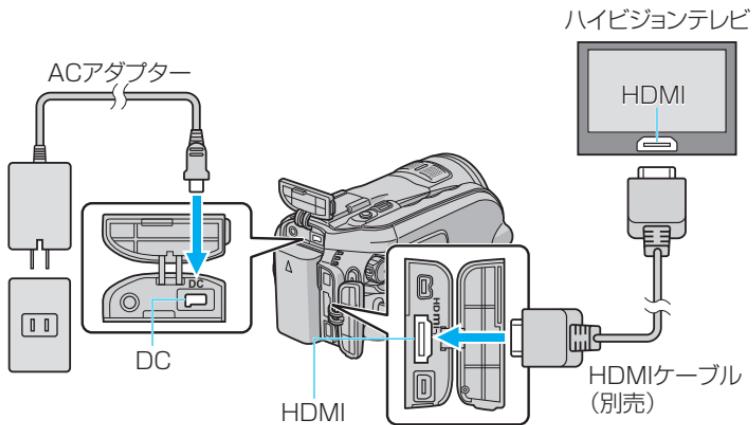
■日付などの表示を消すとき
➡「テレビ表示」(P.89)

■日付だけを表示するとき
➡「日時表示(入)または(オート)」(P.88)
「画面表示(切)」(P.89)
「テレビ表示(入)」

デジタル方式でハイビジョンテレビに接続する
HDMI端子

アナログ方式でハイビジョンテレビに接続する
D端子

P.52へ

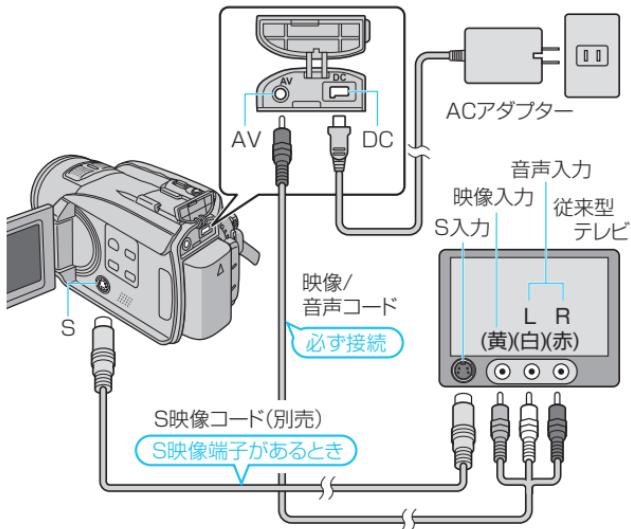
ハイビジョンテレビに接続すると、ハイビジョン画質で再生できます。
従来型のテレビに接続すると、標準画質で再生できます。

■D端子の種類をテレビに合わせる
➡「コンポーネント出力」(P.90)

テレビで見る Ⅱ

従来型テレビに接続する

AV端子

S端子

(以下は、P.50の手順①～②の操作です)

■テレビの画面比(4：3／16：9)に合わせる

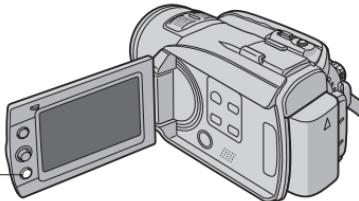
➡「ビデオ／S出力」(P.90)

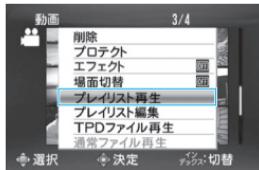
再 生 5

プレイリストを見る

■プレイリストをつくるとき
➡「プレイリストをつくる」(P.56)

準備 ●電源/モードスイッチ:🎥モード
●切換ボタン:「再生」

1 ファンクションを表示する

ファンクション

2 「プレイリスト再生」を選び、決定する

3 プレイリストを選び、決定する

■プレイリストに含まれる動画を確認するとき
➡「インデックス」ボタン押す

■通常の再生に戻るとき
➡手順②で「通常ファイル再生」を選び、決定する

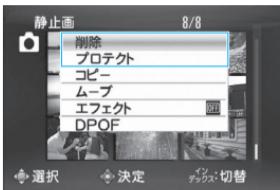
消去 1

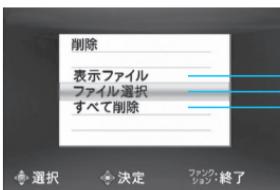
消去する／保護する

準備　●電源／モードスイッチ：🎥／📷モード
　　　●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

ファンクション

2 「削除」または「プロテクト」を選び、決定する

3 削除またはプロテクトする方法を選び、決定する

1ファイルずつ
表示ファイル

複数のファイルを選んで
ファイル選択

すべてまとめて
すべて削除
すべてプロテクト
すべて解除

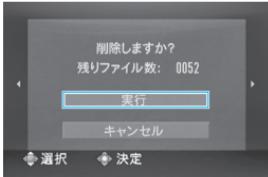
■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■誤消去防止のプロテクトをやめるとき
➡プロテクトするときと同じ手順で、
　「プロテクト」を解除する

※画面は削除の場合

いらなくなった動画や静止画を削除したり、
大切な画像に誤消去防止の保護(プロテクト)をかけることができます。

いま選ばれている動画や静止画を、1つずつ削除またはプロテクトします。

①「実行」を選び、決定する

削除またはプロテクトしたい動画や静止画を選び、まとめて実行します。

①画像を選び、決定する

「🗑(削除)」または「🔑(プロテクト)」が表示

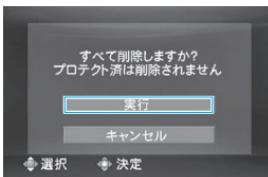
●複数のファイルを選ぶとき➡手順①を繰り返す。
●解除するとき➡再び画像を選び、決定する。

②まとめて「削除」または「プロテクト」する

③削除する場合は「削除を実行して終了」を選び、決定する

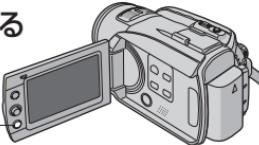
●プロテクトする場合は「終了」を選ぶ。

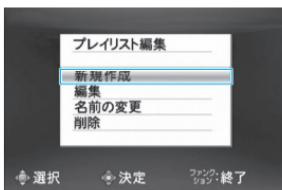
すべての動画、またはすべての静止画を、削除またはプロテクトします。

①「実行」を選び、決定する

●プロテクトするときは、「すべてプロテクト」か「すべて解除」が選べる。

編　集 1　プレイリストをつくるⅠ

準備　●電源／モードスイッチ：🎥モード
　　　●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

2 「プレイリスト編集」を選び、決定する

3 「新規作成」を選び、決定する

4 作成方法を選び、決定する

すべての動画から選んで

すべてのシーン

■終了するとき ➡「ファンクション」ボタン押す

■プレイリストを修正／削除するとき ➡(P.60)

■プレイリストを再生するとき ➡(P.53)

撮影した動画をお好みの順でつなげるなどして、
オリジナル映像（プレイリスト）をつくることができます。（元の映像は残ります）

撮影したすべての動画からお好みの動画を選び、プレイリストをつくります。

①撮影した動画を選び、決定する

撮影した動画　プレイリスト　（選んだ動画がプレイリストに追加される）

1440 CBR がある動画は、ハイビジョンのままi.LINK端子からダビングできます。

●選んだ動画の内容を確認する➡「インデックス」ボタン押す
●プレイリストに追加した動画を消す➡「決定」ボタン押す

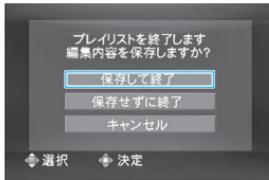
②挿入位置を選び、決定する

（挿入位置は動画が2つ以上
あるときに選べる）

③手順①～②を繰り返し、好みの順に動画を並べる

④確定する

ファンクション

⑤「保存して終了」を選び、決定する

（インデックス画面に戻る）

●作成した日時が、プレイリストの名前になります。

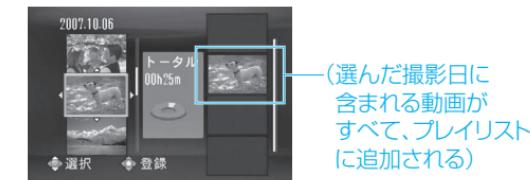
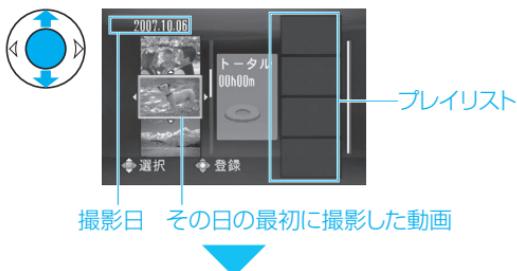
プレイリストをつくる Ⅱ

撮影日から探して

日付から
取り込み

撮影日を選び、その日に撮影した動画を
まとめて選んで並べます。

（P.56の手順④で「日付から取り込み」を選んだ後）

①撮影日を選び、決定する

- 選んだ撮影日に含まれる動画を確認する
  ➡「インデックス」ボタン押す
- 動画の内容を確認する
  ➡「⬆⬇」で動画を選び、決定する
- プレイリストに追加した動画を消す
  ➡「決定」ボタン押す

②挿入位置を選び、決定する（P.57 手順②）

（挿入位置は撮影日が2日以上あるときに選べる）

③手順①～②を繰り返し、撮影日を並べる

④確定する

（「ファンクション」ボタン押す）

⑤「保存して終了」を選び、決定する

撮影した動画をイベントや撮影日から探してお好みの順でつなげて、
まとまったオリジナル映像(プレイリスト)がつくれます。

イベントと撮影日から探して

イベントから
取り込み

記録したイベント(P.34)と撮影日を選び、
その日に撮影した動画をまとめて選んで並べます。

(P.56の手順④で「イベントから取り込み」を選んだ後)

①イベントを選び、決定する

選んだイベントが登録されている撮影日

②撮影日を選び、決定する(P.58 手順①)

③挿入位置を選び、決定する(P.57 手順②)
(挿入位置は撮影日が2日以上あるときに選べる)

④手順②～③を繰り返し、撮影日を並べる

⑤確定する
(「ファンクション」ボタン押す)

⑥「保存して終了」を選び、決定する

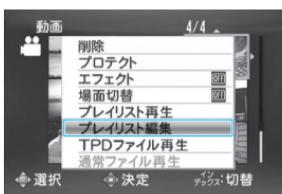
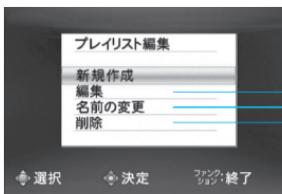
編 集 3

プレイリストを編集する

準備　●電源／モードスイッチ：🎥モード
　　　●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

ファンクション

2 「プレイリスト編集」を選び、決定する

3 編集項目を選び、決定する

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■プレイリストを再生するとき
➡「プレイリストを見る」（P.53）

プレイリストを編集する
編　集

プレイリスト名を変更する
名前の変更

プレイリストを削除する
削　除

作成したプレイリストの名前を変えたり、中のシーンを削除したり、
プレイリストを削除したりできます。(元の映像は残ります)

一度作成したプレイリスト内の動画を、削除したり並べ替えたりできます。

①プレイリストを選び、決定する

②(P.57の手順①〜⑤にしたがい)
プレイリストをつくり直す

●プレイリスト内の動画を削除するとき➡「決定」ボタン押す

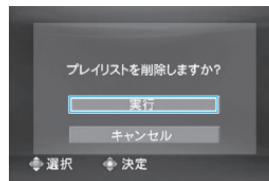
プレイリストの名前を、20文字以内で変更できます。

①プレイリストを選び、決定する

②名前をつける

プレイリストを削除します。(元の動画は消えません)

①プレイリストを選び、決定する

②「実行」を選び、決定する

●すべてのプレイリストを削除するとき➡「すべて削除」を選ぶ

編 集 4 映像に効果をつける

準備 ●電源/モードスイッチ:🎥/📷モード
●切換ボタン:「再生」

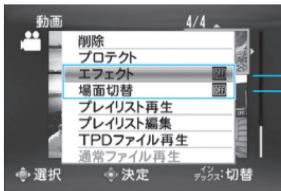
1 ファンクションを表示する

ファンクション

ファンクション

2 「エフェクト」または「場面切替」を選び、決定する

(📷モードのとき)

(🎥モードのとき)

■終了する/中止するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

お知らせ

●「エフェクト」は撮影前に設定しておくこともできます。(P.44)

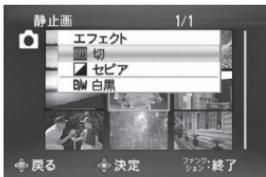
●約7秒以下の短いシーンには、効果が付きません。

🎥 📷 映像に効果をつける
エフェクト

🎥 映像のつなぎ目に効果をつける
場面切替

撮影した映像やシーンのつなぎ目に、いろいろな効果をつけて、
再生したりダビングしたりできます。（元の映像はそのまま残ります）

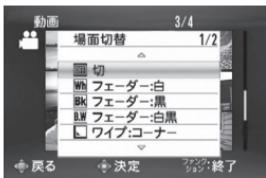
再生する動画や静止画全体に効果をつけます。

①効果を選び、決定する

●映像に効果がつく。

・セピア　：セピア色に
・B/W 白黒　：白黒の色に
・映画効果（動画のみ）　：早いコマ落とし
・ストロボ（動画のみ）　：コマ落とし

②再生する

再生する動画や動画のつなぎ目に効果をつけます。

①効果を選び、決定する

●動画の最初と最後に効果が入る。

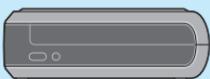
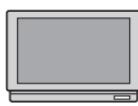
・フェーダー：フェードイン→フェードアウト
Wh 白（白↔カラー）
Bk 黒（黒↔カラー）
B.W 白黒（モノトーン↔カラー）

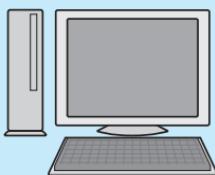
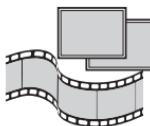
例）フェーダー：白

・ワイプ：ワイプイン→ワイプアウト
コーナー（右上↔左下）
ウィンドウ（中心↔周辺）
スライド（右↔左）
ドア（中心↔左右）
スクロール（下↔上）
シャッター（中心↔上下）

例）ワイプ：コーナー

保　存 1

いろいろな保存

これを使って…	こんなことができます
DVDライターで (P.66)	ハイビジョンのまま DVDに保存する
ビデオ機器で (P.74)	DVDに保存する
	テープに保存する
SDカードに写して… (P.78)	お店でプリント（印刷）する
	大画面テレビやカーナビで見る

SDカード
スロット付テレビ

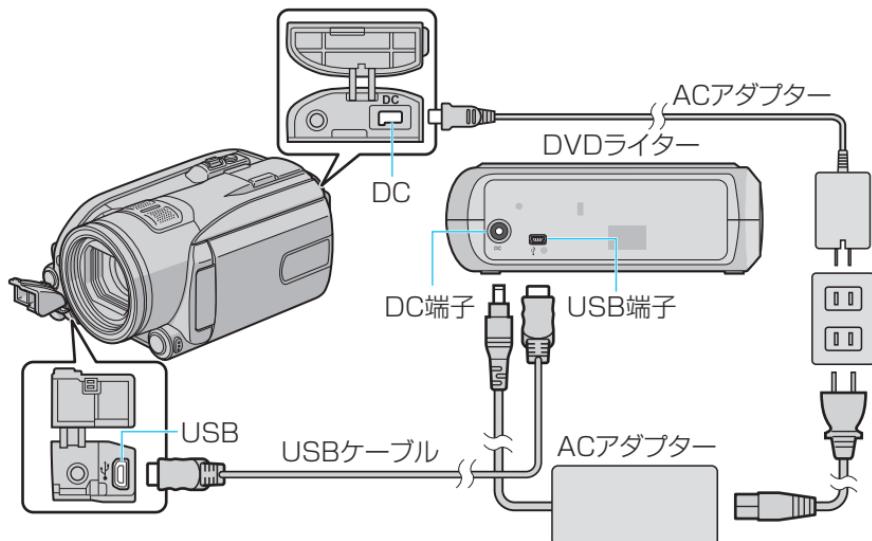
動画や静止画を撮影したら、あとでしたいことに合わせて、
ビデオ機器・パソコンなどに保存しましょう。

■動画の１コマをプリントするとき
➡①動画の再生時に静止画ボタンを押す(再生映像を静止画で撮る)
②撮った静止画をパソコンでプリントする
または、SDカードに静止画を移して(P.78)お店でプリントする

お知らせ ●動画から撮った静止画は、画像サイズが「1920×1080」、画面比が「16：9」になります。

DVD保存 1

DVDに保存する I

準備　●電源/モードスイッチ：「切」
●DVDライター（別売）の説明書もご覧ください。

DC
ACアダプター
DVDライター
DC端子
USB端子
USB
USBケーブル
ACアダプター

■先にDVDをセットしておきます

①取り出しボタンを押す
●トレーが開く

②DVD-R（別売）、または
DVD-RW（別売）を入れる

③取り出しボタンを押す
●トレーが閉まる

記録できるDVDディスク	•DVD-R •DVD-RW •DVD-R DL
記録できないDVDディスク	•8cmサイズ •特殊な形状のもの •キズのあるもの

DVDライター(別売)と接続して、動画･プレイリスト･静止画を、
画質を落とすことなく保存(バックアップ)できます。

動画･静止画･プレイリストを保存(バックアップ)する

準備　●電源／モードスイッチ：／モード
　　　●DVDライターの電源：「入」

■すべての映像をバックアップするとき ➡ P.68

■新しく撮った映像をバックアップするとき ➡ P.68

■映像を選んでバックアップするとき ➡ P.70

■撮影日／イベント／プレイリストを選んでバックアップするとき
➡ P.70、72、73

バックアップDVDを見る

■本機とDVDライターで見るとき ➡ P.69

■DVDライター(CU-VD40)とテレビで見るとき
➡DVDライターの説明書をご覧ください

■パソコンで見るとき
➡別冊『パソコン編』をご覧ください

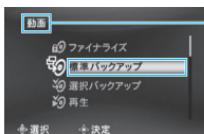
お知らせ
- バックアップDVDは、DVDプレーヤー･ブルーレイディスクプレーヤー･HD DVDプレーヤーなどで再生できません。
- バックアップDVDをパソコンや、DVDライター(CU-VD40)の再生機能で見るには、あらかじめ本機でファイナライズしてください(P.69)。
- バックアップDVDに映像を追記するときは、追記するまえに、再生(P.69)して内容を確認してください。
- 2枚以上のディスクが必要なときは(P.68)、使用済みのディスクに追記せず、未使用ディスクを使用してください。

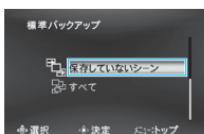
DVD 保存 2

DVDに保存する Ⅱ

DVDに一度もバックアップしていない動画または静止画を、DVDにバックアップします。

コピー元（本機）

❶「標準バックアップ」を選び、決定する

モード（動画／静止画）を確認する

❷「保存していない…」を選び、決定する

●すべての動画や静止画をバックアップするときは
➡「すべて」を選ぶ

※画面は動画の場合

❸「実行」を選び、決定する

必要なディスクの枚数

●中止するとき
➡「キャンセル」を選び、決定する

コピー先（DVDライター）

（DVDにバックアップ開始）

●「ディスクを入れ替えてください」と表示されたとき
➡新しいDVDに入れ替える

❹終了する

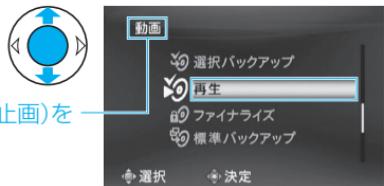
❺DVDを取り出す

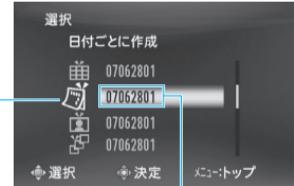
DVDライター(別売)と接続し、新しく撮った動画や静止画をバックアップしたり、バックアップDVDの動画や静止画を再生したりできます。

本機でバックアップDVDを見る

1 バックアップDVDをセットする

2 「再生」を選び、決定する

モード(動画/静止画)を確認する

3 フォルダを選び、決定する

バックアップ方法を示すアイコン

バックアップした年月日と数字(01～99)

4 日付を選び、決定する

■パソコンやDVDライター(CU-VD40)の再生機能で見るとき

➡手順②で「ファイナライズ」を選ぶ

お知らせ ●再生できるディスクは、本機でバックアップしたDVDに限ります。

準備 撮影・再生 消去・編集 保存・印刷 必要なとき 困ったとき

DVDに保存する Ⅲ

1 「選択バックアップ」を選び、決定する

モード(動画／静止画)を確認する

2 コピーする映像を選ぶ

P.72へ
P.73へ

3 「実行」を選び、決定する

- 中止するとき
  ➡「キャンセル」を選び、決定する
- 「ディスクを入れ替えてください」と表示されたとき
  ➡新しいDVDに入れ替える

4 終了する

※画面は動画の場合

選んだ撮影日の映像だけを

日付ごとに作成

選んだ映像だけを

シーンから選ぶ

画像から選ぶ

DVDライター（別売）と接続し、撮影日などで動画や静止画をまとめてバックアップしたり、お好みの動画や静止画をバックアップしたりできます。

選んだ日付に撮影したすべての動画または静止画をバックアップします。

①撮影日を選び、決定する

②決定する

（P.70手順③へ）

選んだ動画または静止画をバックアップします。

①バックアップする動画または静止画を選び、決定する

（選んだ映像に☑がつく）

②手順①を繰り返し、動画または静止画を選ぶ

③確定する

（P.70手順③へ）

お知らせ

- P.70手順③で「選択」を選ぶと、バックアップする動画または静止画を変更できます。

準備 / 撮影・再生 / 消去・編集 / 保存・印刷 / 必要なとき / 困ったとき

DVDに保存する Ⅳ

選んだイベントの動画だけを

イベントを選び、そのイベントを登録している
すべての動画を、DVDにバックアップする。

(P.70の手順②で「イベントごとに作成」を選び)

①イベントを選び、決定する

②決定する

●選んだイベントに含まれるシーンの一覧を見る
➡「インデックス」ボタン押す

③「実行」を選び、決定する(P.70 手順③へ)

お知らせ ●「プレイリストごとに作成」(P.73)では、ファイル情報の画面(P.17)の「作成日時」がバックアップした日時になります。

DVDライター（別売）と接続し、「旅行」などのイベントや、プレイリストで、動画をまとめてバックアップできます。

選んだプレイリストを

プレイリストごとに作成

作成したプレイリストを選び、プレイリスト通りの動画をDVDにバックアップする。

（P.70の手順②で「プレイリストごとに作成」を選び）

①プレイリストを選び、決定する

作成したプレイリスト　DVDにバックアップする動画リスト

（選んだプレイリストが、バックアップのリストに追加される）

②挿入位置を選び、決定する

（挿入位置はプレイリストが２つ以上あるときに選べる）

③手順①～②を繰り返し、プレイリストを並べる

④確定する

⑤「すべて」を選び、決定する

⑥「実行」を選び、決定する（P.70 手順③へ）

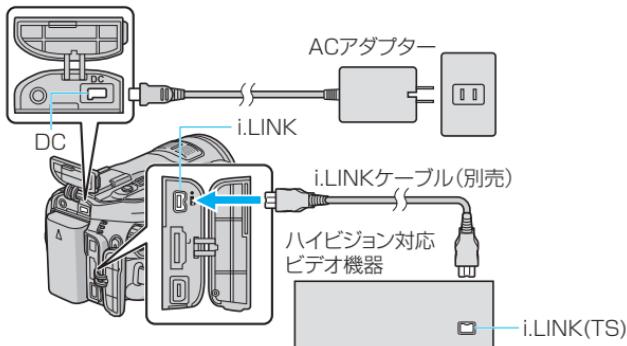
ビデオ保存 1

ハイビジョン画質でダビングする

準備 ●電源／モードスイッチ：「切」
●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください

HDV機器に接続する

HDV機器

HDV対応ソフトウェア

■i.LINK出力を「1440 CBR」に合わせる

➡「i.LINK出力」（P.90）

■画質「1440 CBR」の動画でプレイリストをつくる

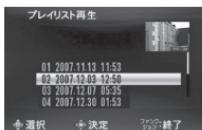
➡「プレイリストをつくる」（P.56）
➡画質「1440 CBR」の動画の見分けかた（P.57）

お知らせ

- ●ビデオ機器で再生した映像は、本機のi.LINK端子・AV端子・S端子に入力できません。
- ●画質が「XP」「SP」の動画を、ハイビジョン画質のまま残すには、DVDライター（P.66）かパソコンをお使いください。パソコンを使う方法については、別冊『パソコン編』をご覧ください。

HDV機器などに、画質「1440 CBR」で撮影した動画をダビングできます。
あらかじめプレイリストを作成してください(P.56)。

再生側(本機)

②「プレイリスト再生」(P.53)でプレイリストを選び、

・画質「1440 CBR」の動画のみで作成したプレイリストを選ぶ。

③ 右へ倒す

④ 決定する

⑤「続行」を選び、決定する

⑥「再生開始」を選び、決定する

・「i.LINK出力中」と表示される。

録画側(HDV機器)

① 録画の準備をする

・対応する入力信号に切り換える。

お知らせ

- ダビングした映像をHDV機器で再生すると、シーンのつなぎ目で映像や音声が止まることがあります。
- ダビングの前に手順⑥までを行い、HDV機器に本機の映像を入力できることを確認してください。
- 手順⑦～⑧のあいだ、本機には再生中の映像が表示されません。HDV機器側で確認します。
- 日時情報はダビングされません。

⑦ 録画を開始する

(ダビング中)

⑧ 録画を停止する

ビデオ保存 2

標準画質でダビングする

準備　●電源／モードスイッチ：「切」
●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください

デジタルで接続する

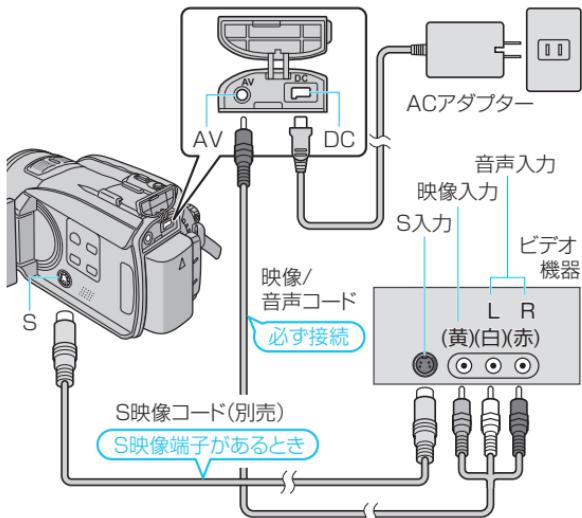
DVDレコーダー

DVカメラ

DV対応ソフトウェア

■接続方法
➡「ハイビジョン画質でダビングする」(P.74)
DVDレコーダーやDVDカメラなどの「DV入力」端子に接続する。

■i.LINK出力を「DV」に合わせる
➡「i.LINK出力」(P.90)

■プレイリストをつくる
➡「プレイリストをつくる」(P.56)

アナログで接続する

AV端子

S端子

ビデオデッキ

■ビデオ機器に接続するテレビの画面比(4：3／16：9)に合わせる ➡「ビデオ／S出力」(P.90)

■日付などの表示を消すとき ➡「テレビ表示」(P.89)

DVDレコーダーやDVカメラなどに、標準画質に変換しながらダビングできます。あらかじめプレイリストを作成してください(P.56)。

プレイリストをダビングする

再生側(本機)	録画側(ビデオ機器)

1 録画の準備をする
・対応する入力信号に切り換える。

2 「プレイリスト再生」(P.53)**でプレイリストを選び、**

3 右へ倒す

4 「再生開始」を選び、決定する

・デジタル:「i.LINK出力中」と表示
・アナログ:黒画面→再生画面→黒画面

5 黒画面が表示されているうちに
録画を開始する

(ダビング中)

6 黒画面が表示されているうちに
録画を停止する

・映像の最初と最後に約5秒間の黒画面が入る。

■動画ファイルをダビングするとき(アナログ接続のみ)
➡手順②で動画を再生し(P.46)、ビデオ機器で録画を開始する

お知らせ
●ダビングの前に手順④までを行い、ビデオ機器に本機の映像を入力できることを確認してください。
●デジタルダビングでは、手順⑤～⑥のあいだ、本機には再生中の映像が表示されません。ビデオ機器側で確認します。
●デジタルダビングでは、日時情報はダビングされません。

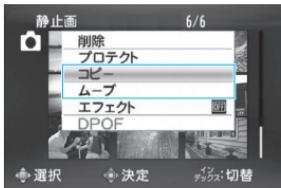
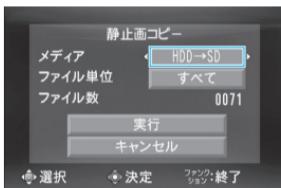
移 動 1

HDD↔SDカードに移す(静止画)

準備 ●電源/モードスイッチ:📷モード
●切換ボタン:「再生」

1 ファンクションを表示する

ファンクション

2 「コピー」または「ムーブ」を選び、決定する

3 「SD→HDD」または「HDD→SD」を選び、決定する

4 コピーまたはムーブする静止画を選ぶ

すべての静止画を

すべて

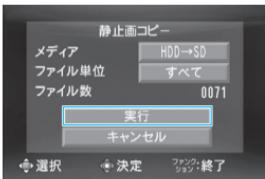
選んだ静止画を

ファイル

■終了するとき ➡「ファンクション」ボタン押す

撮影した静止画をHDDとSDカード間でコピーしたり、ムーブ(複製せずに移動)させたりできます。静止画をお店でプリント(現像)するときなどに便利です。

全ての静止画をコピーまたはムーブ(移動)します。

①「実行」を選び、決定する

選んだ静止画だけをコピーまたはムーブ(移動)します。

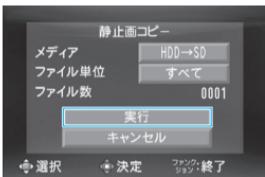
①コピーまたはムーブ(移動)したい静止画を選び、決定する

(選んだ静止画に☑がつく)

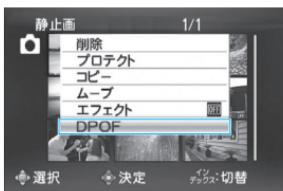
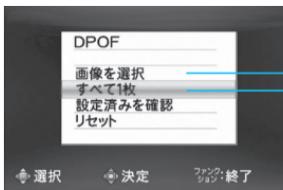
②手順①を繰り返し、静止画を選ぶ

③確定する

ファンクション

④「実行」を選び、決定する

印刷 1

プリント指定する(DPOF)

準備　●電源／モードスイッチ：📷モード
　　　●切換ボタン：「再生」

静止画や枚数を選ぶ

画像を選択

すべての静止画を1枚ずつ

すべて1枚

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■プリント指定を確認するとき
➡手順③で「設定済みを確認」を選ぶ

■プリント指定をすべて取り消すとき
➡手順③で「リセット」を選ぶ

■「DPOF」が選べないとき
➡静止画をSDカードに移す(P.78)
「静止画メディア」を「SD」にする(P.87)

静止画を記録したSDカードをお店に持ち込む前に、
プリントする枚数を静止画ごとに指定できます。

プリントする静止画の指定や、枚数を設定できます。

①静止画を選び、決定する

プリントする静止画

②枚数を選び、決定する

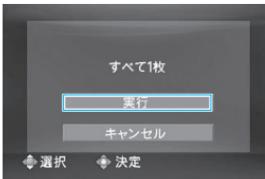
プリントする枚数（最大15枚）

③手順①〜②を繰り返し、
プリント指定をする

④確定する

ファンクション

すべての静止画を、1枚ずつプリントするように設定できます。

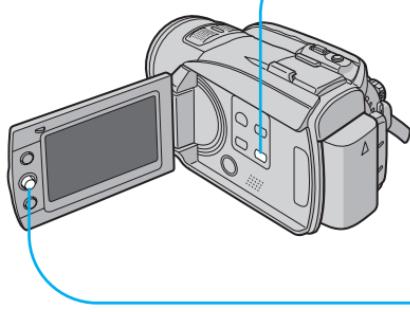
①「実行」を選び、決定する

②終了する

お知らせ

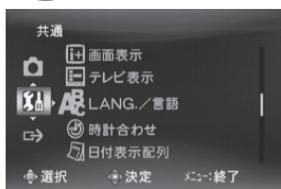
●画面比が16:9の静止画（P.65、86）をお店でプリントすると、両端が切られることがあります。プリントするお店に確認してください。

設　定 **1**

設定を変える

準備　●電源／モードスイッチ：🎥／📷モード
　　　●切換ボタン：「撮影」

1 メニューを表示する

2 左の列に移動する

3 メニューを選び、決定する

4 項目を選び、決定する

5 内容を選び、決定する

■設定を終了するとき

➡「メニュー」ボタン押す

■一つ前の画面に戻るとき

➡「⬅」押す

■すべての設定をお買い上げ時に戻すとき

➡共通メニューの「プリセット」（P.88）

お知らせ

●それぞれの項目の詳しい設定内容は各ページをご覧ください。

画質や撮影時の効果、画面表示などの設定を変えたり、
本体のHDDやSDカードをフォーマットしたりできます。

メニュー一覧

〈ビデオメニュー〉

項目	ページ
画質	P.84
ズーム倍率	P.84
手ぶれ補正	P.84
感度アップ	P.84
ウィンドカット	P.84
動画メディア	P.84
シーンカウンター	P.85
外部マイクレベル	P.85

〈スチルメニュー〉

項目	ページ
画質	P.86
画像サイズ	P.86
感度	P.86
連写	P.86
セルフタイマー	P.87
静止画メディア	P.87

〈出力設定メニュー〉

項目	ページ
ビデオ／S出力	P.90
コンポーネント出力	P.90
HDMI出力	P.90
HDMIカラー設定	P.90
HDMIエンハンス設定	P.90
i.LINK出力（ダビング）	P.90

〈共通メニュー〉

項目	ページ
LANG./言語	P.88
時計合わせ	P.88
日付表示配列	P.88
日時表示	P.88
プリセット	P.88
画面明るさ	P.88
落下検出	P.88
フォーカスアシスト	P.88
リモコン	P.89
デモモード	P.89
操作音	P.89
画面表示	P.89
テレビ表示	P.89

〈メディアメニュー〉

項目	ページ
HDDクリーンアップ	P.91
HDDフォーマット	P.91
HDDデータ消去	P.91
SDフォーマット	P.91
動画番号リセット	P.91
静止画番号リセット	P.91

設定 2

ビデオメニュー

メニュー	項目	内容
ビデオメニュー	画質	● XP：最高画質 SP：長時間撮影できる 1440 CBR：固定ビットレート •「1440 CBR」に設定して撮影すると、市販のHDV対応ソフトウェアやHDV機器にダビングして編集できます。ただし、すべてのHDV機器との互換性を保証するものではありません。 •「動画メディア」を「SD」に設定すると、「SP」に設定されます。
	ズーム倍率	● 10倍/10x：10倍までズームできる 40倍/40x：40倍までズームできる 200倍/200x：200倍までズームできる
	手ぶれ補正	切：設定しない ● 入：手ぶれによる映像のブレを低減する • 三脚などで固定して撮影するときは ➡「切」にする。（「入」では逆に不自然な映像になる） • 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。
	感度アップ	切：調節しない ● 入：暗いところで電気的に明るく調節する
	ウィンドカット	● 切：低減しない 入：風の音を低減する
	動画メディア	● HDD：動画を本体のHDDに記録する SD：動画をSDカードに記録する •「SD」に設定すると、「画質」が「SP」に設定されます。

●印は、お買い上げ時の設定です

ビデオメニューでは、動画撮影時の設定を変更できます。

メニュー	項目	内容
ビデオメニュー	シーンカウンター	OFF 切：表示しない ● ON 入：撮影開始からの経過時間を表示する
	外部マイクレベル	OFF 切：表示しない ● ON 入：外部マイクを接続すると表示する

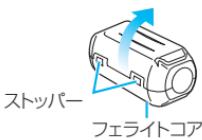
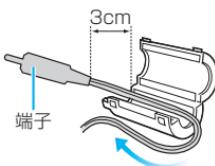
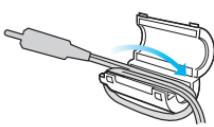
●印は、お買い上げ時の設定です

お知らせ

●「画質」の設定を変更して撮影すると、動画番号リセット(P.91)が同時に行われ、動画のフォルダが新しく作られます。「画質」の設定を頻繁に変更すると、撮影可能時間(P.94)一杯になるまえに、動画のフォルダ数の制限によって撮影できなくなることがあります。

■外部マイク(別売)を使うとき

➡オーディオケーブル(付属)に、フェライトコア(付属)を取り付ける
本機のマイク端子と外部マイクを、オーディオケーブルで接続する

1 両側のストッパーをはずし、開く

2 本機側の端子から約3cmの位置に取り付ける

3 1回巻き付ける

4 コードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

設定3 スチルメニュー

メニュー	項目	内容
スチルメニュー	画質	● ファイン：高画質（撮影枚数が少ない） スタンダード：標準画質（撮影枚数が多い）
	画像サイズ	● 1920×1080（画面比が16:9） 1440×1080 1024× 768 640× 480 • 画面比が16:9の静止画をお店でプリントすると、両端が切られることがあります。プリントするお店に確認してください。
	感度	● A オート：周囲の明るさに応じて、感度を調整する 100：ISO 100フィルム相当に設定する 200：ISO 200フィルム相当に設定する 400：ISO 400フィルム相当に設定する • 感度の数値を上げると、ノイズで粗くなります。
	連写	● OFF 切：連写しない ON 入：静止画ボタンを押し続けているあいだ、連写する（最大2枚/秒） ブラケット：自動または手動で設定した明るさを中心に、少し暗い静止画（-0.3EV）と、少し明るい静止画（+0.3EV）の、3種類の静止画を連写する • シャッタースピードを設定しても（P.43）、ブラケット撮影ではシャッタースピードが固定されません。 • SDカードによっては、連写できないことがあります。 • 連写し続けると、連写速度が低下します。

●印は、お買い上げ時の設定です

スチルメニューでは、静止画撮影時の設定を変更できます。

メニュー	項目	内容
スチルメニュー	セルフタイマー	● 切：セルフタイマーを使わない 2秒：静止画ボタンを押して、2秒後に撮影（手ぶれ防止の効果がある） 10秒：静止画ボタンを押して、10秒後に撮影 • セルフタイマーの動作中は、残り時間（秒）が表示されます。 • 撮影開始をお知らせする音を消すには、共通メニューで「操作音」を「切」にします。
	静止画メディア	● HDD：静止画を本体のHDDに記録する SD：静止画をSDカードに記録する

●印は、お買い上げ時の設定です

設定 4 共通メニュー

メニュー	項目	内容
共通メニュー	LANG./言語	● 日本語：メニューなどを日本語で表示する ENGLISH：英語で表示する（P.96）
	時計合わせ	現在時刻を合わせる（P.28）
	日付表示配列	（日付配列） ● 年.月.日/日.月.年/月.日.年 （時間表示） ● 12h/24h
	日時表示	OFF 切：表示しない ● A オート：（撮影時）「撮影」に切り替えたとき、（再生時）動画や静止画を表示したとき、日付が変わったときに、約5秒間表示する ON 入：常に表示する
	プリセット	● キャンセル 実行：すべての設定をお買い上げ時に戻す
	画面明るさ	（暗く）－ ＋（明るく） •「⬅ ➡」で画面の明るさを調節する。
	落下検出	OFF 切：落としても停止しない ● ON 入：HDDの破損を防ぐため、本機を落とすと電源を切って撮影や再生を停止する • 本機を落とさなくても撮影や再生が停止するときは ➡「切」にする。 ➡ビデオメニューで「動画メディア」を「SD」にする。 •「入」にしてもHDDを保護できないことがあります。
	フォーカスアシスト	● B 青／ R 赤／ G 緑 ・フォーカスアシストボタンを押したときに、ピントの合った被写体の輪郭線が、設定した色で表示されます。

●印は、お買い上げ時の設定です

共通メニューでは、撮影時や再生時に共通する表示の設定などを変更できます。

メニュー	項目	内容
共通メニュー	リモコン	OFF 切：リモコンでの操作を受け付けない ● ON 入：リモコンで操作できる
	DEMO デモモード	OFF 切：設定しない ● ON 入：SDカードを入れずに電源を入れ、「撮影」にすると、約3分後に本機の機能のデモが確認できる（ACアダプター接続時のみ）
	操作音	OFF 切：消す ● ♫ メロディー：操作時にメロディー音を鳴らす
	画面表示	OFF 切：アイコンや日付を表示しない ● ON 入：アイコンや日付を表示する •「切」に設定しても、「日付表示」の設定時は日時が表示されます。
	テレビ表示	● OFF 切：テレビに、アイコンや日付を表示しない ON 入：常に表示する

●印は、お買い上げ時の設定です

準備　撮影・再生　消去・編集　保存・印刷　必要なとき　困ったとき

設定 5 出力設定／メディアメニュー

メニュー	項目	内容
出力設定メニュー	ビデオ／S出力	● 16:9：ワイドテレビに接続するとき 4:3：従来型のテレビに接続するとき
	コンポーネント出力	● D1：D1（480i）～D2（480p）のとき D3：D3（1080i）～D4（720p）のとき • テレビのD端子に接続するときに、D端子の種類を設定します。
	HDMI出力	● オート：通常はオートに設定する 480p：オートでは映像が正常に表示されないとき
	HDMIカラー設定	● オート：通常はオートに設定する RGB：オートでは色が正常に表示されないとき
	HDMIエンハンス設定	● 切：通常は切に設定する 入：「HDMIカラー設定」を「RGB」に設定したときや、コントラストが低いとき
	i.LINK出力（ダビング）	● 1440 CBR：HDV入力に対応した機器にダビングするとき DV：DV入力に対応したビデオ機器にダビングするとき • HDV機器にダビングできるのは、画質を「1440 CBR」に設定して撮影した動画のみです。ただし、すべてのHDV機器との互換性を保証するものではありません。

●印は、お買い上げ時の設定です

お知らせ ●HDDクリーンアップとHDDデータ消去は、終了まで時間がかかります。ACアダプターを接続してください。（P.26）

出力設定メニューは、テレビなどに接続するときに設定します。
メディアメニューでは、動画や静止画をまとめて削除したり、整理したりできます。

メニュー	項目	内容
メディアメニュー	HDDクリーンアップ	実行：HDDに関わる不具合を解消できることがある ●キャンセル
	HDDフォーマット	実行：HDD内のすべてのデータを削除し、HDDをフォーマット（初期化）する ●キャンセル
	SDフォーマット	実行：SDカード内のすべてのデータを削除し、SDカードをフォーマット（初期化）する • SDカードが入っていないときは、選べません。 ●キャンセル
	HDDデータ消去	実行：本機を廃棄するときに使う（ダミーデータの上書きですべてのデータを消去し、さらにフォーマットする） • 繰り返すことで、復元をさらに困難にすることができます。 ●キャンセル
	動画番号リセット	実行：HDDやSDカードに記録される動画のフォルダを新しくつくり、ファイル名の数字をリセットして「1」から始める • 例）「PRG001」フォルダの「MOV029.TOD」→「PRG002」フォルダの「MOV001.TOD」 ●キャンセル
	静止画番号リセット	実行：HDDやSDカードに記録される静止画のフォルダを新しくつくり、ファイル名の数字をリセットして「1」から始める • 例）「101JVCSO」フォルダの「PIC_0259.JPG」→「102JVCSO」フォルダの「PIC_0001.JPG」 ●キャンセル

●印は、お買い上げ時の設定です

仕様

一般	
電源	ACアダプター使用時　：DC11V バッテリー使用時　：DC7.2V
消費電力	ライトなし　：6.7W ライト点灯時　：6.9W
外形寸法(mm)	82×75×145（幅×高さ×奥行き：グリップベルトを含まず）
質量	本体　：約575g（グリップベルトを含む） 撮影時：約660g（バッテリーBN-VF815、グリップベルトを含む）
動作環境	許容動作温度：0℃～40℃、許容保存温度：－20℃～50℃ 許容相対湿度：35％～80％

カメラ部・液晶部	
映像素子	1/5型57万画素×3（3CCD） 撮像エリア：43万画素×3（動画）、53万画素×3（静止画）
レンズ	動画　：F1.8～F2.4、f=3.2mm～32.0mm 静止画　：F1.9～F2.4、f=4.0mm～32.0mm （35mmカメラ換算　動画　：42.2mm～422mm 静止画　：48mm～384mm））
フィルター径	46mm（ネジピッチ0.75mm）
最低照度	18ルクス（シャッタースピード：1/60） 1ルクス（ナイトアイモード、シャッタースピード：1/2）
液晶画面	2.8型、20.7万画素、ポリシリコンカラー液晶
ライト	推奨撮影距離：1.5m以下、LEDタイプ
ズーム	動画撮影時　：光学ズーム10倍まで、デジタルズーム200倍まで 静止画撮影時：光学ズーム8倍まで　再生時5倍まで

端子部	
S端子	S映像：アナログ出力
AV端子	映像：アナログ出力 音声：ステレオ、アナログ出力
マイク端子	φ3.5mmミニジャック：ステレオ、プラグインパワー対応
コンポーネント端子	Y Pb Prコンポーネント出力
HDMI端子	HDMI Ver.1.2a 出力
i.LINK端子	4ピン（i.LINK/IEEE1394準拠）出力
USB端子	ミニUSB-ABタイプ、USB2.0

内蔵ハードディスク部	
容量	60GB

ACアダプター(AP-V14)	
電源	AC 100V―240V、50Hz／60Hz
出力	DC 11V、1A
許容動作温度	0℃～40℃（充電時は10℃～35℃）
外形寸法(mm)	50×27×71(幅×高さ×奥行き)(コードとACプラグを含まず)
質量	約100g

バッテリー(BN-VF815)	
電圧	DC 7.2V
容量	1460mAh
外形寸法(mm)	30.5×32.5×52(幅×高さ×奥行き)
質量	約85g

時計用電池	
種類	二次電池(内蔵充電式)

リモコン(RM-V750)	
種類	DC3V(ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約1年(使用頻度により変わる)
動作距離	約5m(正面軸上)
許容動作温度	0℃～40℃
外形寸法(mm)	42×14.5×91(幅×高さ×奥行き)
質量	約30g(ボタン電池を含む)

静止画	
記録方式	JPEG準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	(P.94)
画質	ファイン／スタンダード
記録メディア	ハードディスク(内蔵)、SDメモリーカード(市販)

動画		
録画／再生方式	SD-VIDEO 規格準拠　MPEG-2(映像)、MPEG-1 Layer2(音声)	
拡張子	.TOD	
信号方式	1080/60i	
画質・音質	XP	1440×1080i、平均26.6Mbps VBR
	SP	1440×1080i、平均19Mbps VBR
	1440 CBR	1440×1080i、固定27Mbps CBR
音質	48kHz、384kbps	
記録メディア	ハードディスク(内蔵)、SDメモリーカード(市販)	

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

撮影時間／枚数の目安

■動画の撮影可能時間の目安

画質	HDD 60GB	SDカード 4GB
XP	5時間	－
SP	7時間	25分
1440 CBR	5時間	－

■静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）

画面	画像サイズ	画質モード	SDカード 512MB	1GB	2GB	4GB
16：9	1920×1080	ファイン	550	1080	2160	4320
		スタンダード	880	1720	3440	6880
4：3	1440×1080	ファイン	740	1440	2880	5760
		スタンダード	1160	2270	4540	9080
	1024×768	ファイン	1460	2850	5700	9999
		スタンダード	2320	4540	9080	9999
	640×480	ファイン	3650	7140	9999	9999
		スタンダード	6400	9999	9999	9999

※HDDには（画像サイズや画質などに関わらず）9999枚まで撮影できます。

■撮影時間の目安（バッテリー使用時）

バッテリー	実撮影時間		連続撮影時間	
	撮影／再生時	ライト点灯時	撮影／再生時	ライト点灯時
BN-VF808	20分	20分	40分	40分
BN-VF815	45分	45分	1時間25分	1時間25分
BN-VF823	1時間5分	1時間5分	2時間10分	2時間5分
VU-V840KIT	2時間	1時間55分	4時間	3時間50分
VU-V856KIT	2時間50分	2時間45分	5時間40分	5時間30分

※実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。
（撮影予定時間の約3倍分を用意することをおすすめします）
※充分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。
（新しいものに交換してください）

技術情報

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

バッテリーの処分について

●バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。

・お問い合わせ：有限責任中間法人JBRC　http://www.jbrc.net/hp/

Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

・録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。

・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

他社製品の登録商標と商標について

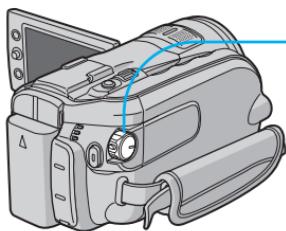
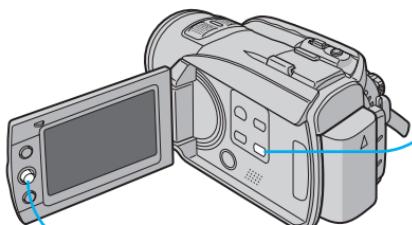
・HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とHDMIロゴ HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE は、HDMI Licensing, LLCの商標です。

・i.LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。

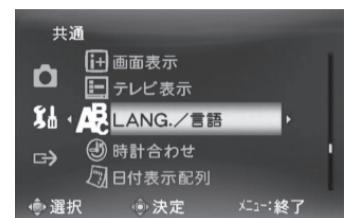
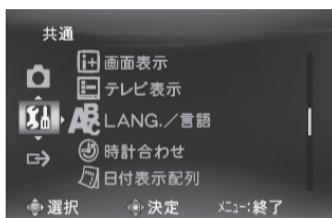
・i.LINKとi.LINKロゴ i. は商標です。

・その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

For English Users

To change the Menu indications etc. to English.

1. Turn on power
2. Display menu
3. Move to left-hand column

4. Select '' and press SET lever.

5. Select 'LANG/言語' and press SET lever.

6. Select 'English' and press SET lever.

7. Press MENU button

故障かな!?と思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。不具合があるときは…

→①まず、以下の表にしたがって対応する。

→②それでも解決しないときは、本機をリセットする。（P.107）

→③それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください
電源	電源が入らない	●ACアダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。
	低温メッセージを表示したあと、暖めていると電源が切れる	●低温から暖まったときは、動作確認のために電源が切れることがあります。
撮影中	撮影できない	●電源を入れる。 ●切換ボタンで「撮影」にする。
	勝手に撮影が停止した	●本機の温度が上がると、液晶画面の「REC」が点滅し、そのまま上がり続けると、HDDの保護のため停止します。 ●大音量や振動する場所から移動する。 ●市販のSDHCカードを入れ（P.25）、ビデオメニューで「動画メディア」を「SD」にする。
	自動でピントが合わない	●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。 ●画面の左上に「M」アイコンが表示されているときは、「A」アイコンにする。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、手動でピントを合わせる。

故障かな!?と思ったら…

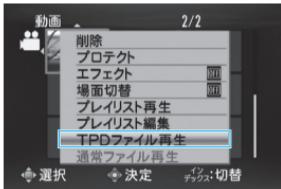
撮影中

こんなときは	ここを確かめてください
被写体が暗い	●逆光補正やナイトアイを使う。 ●明るさ補正を「+」側に設定する。 ●動画の場合、ビデオメニューで「感度アップ」を「入」にする。 ●静止画の場合、スチルメニューで「感度」を「オート」または「400」にする。
被写体が明るい	●逆光補正を使っているときは解除する。 ●明るさ補正を「−」側に設定する。
スポット補正できない	●ズーム倍率を10倍以下に抑える。
被写体の色がおかしい	●照明や背後にいろいろな光源があるときは、ホワイトバランスの「ワンタッチ」で調節する。
映像に明るい縦の線がでる	●強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。
デジタルズームできない	●ビデオメニューで「ズーム倍率」を「40倍」か「200倍」にする。
ホワイトバランスを設定できない	●エフェクトで「セピア」や「白黒」を選んでいるときは使えません。
静止画の連写速度が遅い	●連写を続けると、連写速度が低下します。 ●使用するSDカードや撮影条件によって、連写速度が低下します。

	こんなときは	ここを確かめてください
撮影中	日時表示がでない	●共通メニューで「日時表示」を「入」にする。
撮影中	機能が働かない	●機能を示すアイコンの表示を確認する。 ●アイコンが点滅または消えているときは、同時に使えない機能を選んでいるので、どちらかの機能を使うのをやめる。
カード	SDカードが入らない	●SDカードの向きを確認する。(P.25)
液晶画面	アイコン表示が点滅または消える	●同時に使えない機能を選んでいるので、どちらかの機能を使うのをやめる。
液晶画面	画面が表示されない	●本機を操作する。 (ACアダプター使用時、何も操作せずに一定時間が過ぎると、スリープモードになり、動画/静止画ランプが点灯し、液晶画面のバックライトが消えます。)
液晶画面	バッテリー残量が正しく表示されない	●バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。 ●高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがある。
液晶画面	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。 (圧迫すると映像ムラが生じます。)

故障かな!?と思ったら…

	こんなときは	ここを確かめてください
液晶画面	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。
液晶画面	画面が見えにくい	●直射日光下など周囲が明るいと、見えにくくなります。
再生中	同じ映像が長く止まって見える	●SDカードを交換する。 （SDカードに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、この状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。） ●クリーンアップやフォーマットを実行する。
再生中	映像がカクカクした動きに見える	（同上）
再生中	音や映像が途切れる	●シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。
再生中	雑音が聞こえる	●撮影中に本機を急に動かさない。（撮影中に本機を急に動かすと、ハードディスクの駆動音が記録されることがあります。）
再生中	テレビの画面が不自然に見える（たて長など）	●出力設定メニューで「ビデオ／S出力」をお使いのテレビに合わせる。
再生中	テレビの画面の一部が揺れて見える	●出力設定メニューで「HDMI出力」を「オート」にする。

こんなときは	ここを確かめてください
再生中	
撮影したはずの動画がない	●ファンクションメニューの「TPDファイル再生」を選び、TPDモードのインデックス画面で探す。 （管理情報が壊れた動画ファイルや、パソコンから書き戻した動画ファイルなどを再生できます。）
DVDライターを接続してバックアップDVDを再生しているときに、使えない機能がある	●バックアップDVDでは、以下の機能を利用できません。 【動画の再生時】 •特殊再生（スロー送り、スロー戻し、コマ送り、コマ戻し） •再生映像の静止画保存 •インデックスの日付検索 •再生時のエフェクト •再生ズーム（リモコンの機能） 【静止画の再生時】 •90度回転 •インフォボタン（ファイル情報、ヒストグラム） •再生時のエフェクト •再生ズーム（リモコンの機能）

故障かな!?と思ったら…

	こんなときは	ここを確かめてください
ダビング	HDV機器に ハイビジョン画質で ダビングできない	●次のすべてを確認する。 •ビデオメニューで「画質」を「1440 CBR」にして撮影する。 •プレイリストを作成し、プレイリストをダビングする。 （動画ファイルごとのダビングはできません。） •ダビングする際は、出力設定メニューで「i.LINK出力」を「1440 CBR」にする。
ダビング	i.LINKケーブルを 接続しても、 パソコンなどから 操作できない	●本機を操作する。 （パソコンなどから操作できません。）
ダビング	プレイリストの ダビング時に、 再生されない 動画がある	●HDV機器にハイビジョン画質でダビングする際は、画質が「XP」「SP」の動画をプレイリストに含めない。 （プレイリストの再生時に、これらの動画は再生されません。） ●出力設定メニューで「i.LINK出力」を「DV」にし、DVカメラやDVDレコーダーに標準画質でダビングする。 ●映像/音声コードで接続し、標準画質でアナログダビングする。
ダビング	ダビング時に、接続した ビデオ機器が自動的に 録画を開始しない	●ビデオ機器を手動で操作し、録画の開始と停止を行う。
その他	動画モードと 静止画モードの 切り替えや電源の 入/切などが遅い	●メディア内のファイルをパソコンへコピーし、メディアから削除する。 （メディアに静止画などが多数（約1,000 ファイル以上）あると、処理に時間がかかります。）

	こんなときは	ここを確かめてください
その他	本機が熱くなる	●故障ではありません。
	充電中、ランプが点滅しない	●バッテリー残量を確認する。 (バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。) ●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。 (範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)
	リモコンがきかない	●電池を交換する。 ●共通メニューで「リモコン設定」を「入」にする。 ●野外や強い光が当たるところでは動作しないことがあります。

■次の場合は故障ではありません。

- ●太陽光が映ると、液晶画面が一瞬赤か黒になる。
- ●液晶画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
  (液晶画面には99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の小さな点がでることがあります)

■HDDの性能を維持するには

➡定期的に、「HDDクリーンアップ」を実行する。(P.91)

■HDDに不具合が生じたとき

➡①「HDDクリーンアップ」を実行します。(P.91)

②不具合が解消しないときは、「HDDフォーマット」をします。(P.91)
(データは削除されます)

③それでも不具合が解消できないときには、フォーマット後にパソコンでチェックディスクを実行します。

④解消できない場合は、「ビクターサービス」に修理をご依頼ください。
(P.110)

こんな表示がでたら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。不具合があるときは…

→①まず、以下の表にしたがって対応する。

→②それでも解決しないときは、本機をリセットする。(P.107)

→③それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

こんな表示	ここを確かめてください
HDDに空き容量がありません	●ファイルを削除する。パソコンなどのメディアに移す。
カードに空き容量がありません	●ファイルを削除する。パソコンなどのメディアに移す。新しいSDカードに交換する。
通信エラーです	●バッテリーをもう一度付け直す。
非対応フォーマットです	●SDカードを入れ直す。
このHDDには書き込めません	●クリーンアップやフォーマットを実行する。
未対応のファイルです	●対応する形式のファイルを使う。
本機でフォーマットしてお使いください	●フォーマットする。
対応ファイルがありません	●静止画を撮影する。
ライトプロテクトがかかっています	●SDカードのライトプロテクトスイッチを解除にする。

こんな表示	ここを確かめてください
フォルダ数が制限を超えています	●次の順に操作する。 ①ファイルをパソコンなどにバックアップする ②メディアメニューで「HDDフォーマット」を選び、決定する （SDカードの場合は、「SDフォーマット」を選び、決定する） ③「実行」を選ぶ（決定しない） ④「イベント」ボタンを押したまま、「決定」ボタン（十字キー）を押す
電源が入っていないかまたは非対応のUSB機器です	●接続したUSB機器の電源が入っているか確認する。
カードへ記録できませんでした	●動作確認済みのSDカードか確認する。
HDDへ記録できませんでした	●クリーンアップする。 ●振動や衝撃を与えないようにする。
記録を中止しました	●「OK」を選んで撮影を中止する。 ●本機に振動や衝撃を与えないように撮影する。
プロテクトがかかっています	●ファンクションメニューの「プロテクト」で解除する。
設定枚数エラー	●1～999枚に設定する。
レンズカバーを確認してください	●レンズカバーを開ける。
イベント記録がありません	●イベントを設定する。

こんな表示がでたら…

こんな表示	ここを確かめてください
プレイリストがありません	●プレイリストを作成する。
プレイリストに登録されているシーンが存在しません いくつかのシーンが再生されません	●プレイリストを作成する。
作業領域が不足しているため処理を中断しました	●プレイリストに登録する動画を、99ファイル以下に減らす。
カードエラー	●SDカードを入れ直す。 （マルチメディアカードは使用できません。） ●SDカードの端子から汚れを取り除く。 ●SDカードを入れてから電源を入れる。
カードに正常に記録できない可能性があります	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。
カードを正常に再生できませんでした	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。
HDDに正常に記録できない可能性があります	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。
HDDを正常に再生できませんでした	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。
フォーマットされていないカードです	●フォーマットする。

こんな表示	ここを確かめてください
日時を設定してください	●日時を設定する。 ●ACアダプターを取り付けて時計用電池（内蔵）を24時間以上充電してから、日時を設定する。
修復しますか?	●「OK」を選んで修復する。
動画モードでは使えません	●ビデオメニューで動画メディアを「HDD」にする。 ●SDカードを交換する。（弊社のハイビジョンハードディスクムービー以外で撮影したカードは使えません。）

■本機をリセットするには

①電源を「切」にする。
②本体からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる。
③共通メニューの「プリセット」を実行する。

さくいん

英字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かな?!と思ったら…」（P.97）にしたがって、まずご確認を。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーとACアダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本機や付属品、SDカードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ハードディスクムービー
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■保証期間中は
保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

● 修理の際は、取扱説明書のP.111をコピーしたものに、必要事項をご記入の上、本機に添付してください。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

性能部品の最低保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● ご不明な点や修理に関するご相談は…
お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口案内」（別紙）にご相談ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

同意書

データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

お預かりした商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いします。しかし、修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってHDD（ハードディスク）の初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。そのため、事前にバックアップしておかれることをおすすめします。

■商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
■万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
■品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに✓マークをお願いします。
□同意する □同意しない

日付：＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

ご署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

修理や点検を依頼されるときは、この同意書のコピーにご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

製品についてのご相談・修理のご依頼

まず、お買い上げの販売店にご相談ください

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は…

修理に関するご相談

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください

技術的なご相談

DVご相談窓口

電話：(045) 450-2770

お買い物情報や全般的なご相談

お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-2828-17

●携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話：(045) 450-8950
FAX：(045) 450-2275

〒221-8528
横浜市神奈川区守屋町3-12

愛情点検

●長年お使いのムービーの点検をぜひ!

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある	ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

M7H5 0707FOH-HT-VP